

平成19年度 社会福祉法人東大阪市社会福祉協議会 事業報告

社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と位置づけられており、社会福祉を目的とする事業者・活動者の取りまとめ役としての役割が期待されており、住民参加と協働のもとに誰もが安心して暮らすことのできる「福祉のまちづくり」をめざして、事業展開をしてきた。

特に本年度は、東大阪市社会福祉協議会が設立40周年を迎え、平成20年2月に長年に亘り、地域福祉活動を推進してきた福祉関係者が一堂に会し、記念となる第20回東大阪市社会福祉大会を盛大に開催することができた。

今後も、地域福祉の取りまとめや基幹的役割を担うべく、賛助会員及び組織構成会員の拡充を進めるとともに地域の福祉施設や市民福祉活動団体をはじめ関係機関などの連携やネットワーク化を推進し、地域福祉の課題の解決に取り組んでいく。

平成19年度は、主に以下の事業活動を行った。

1. 「小地域ネットワーク活動推進事業」は、45の全校区福祉委員会において実施し、市内全域で、地域で支えあう多様なネットワーク活動を展開した。今年度は、新しい取り組みとして小地域ネットワーク活動のグループ援助活動を活かし、介護予防事業に取り組み、保健センター等の専門機関と連携して19の校区において延べ70回実施された。また、日頃からの個別見守り援助活動を活かし、地域の要援護者の支援活動を取り入れた災害時要援護者等防災訓練が8校区で実施された。
2. 「市民福祉活動センター」は、市民福祉活動団体との協働、また市民活動の新たな拠点確保のため、東大阪市まちづくり支援課、NPOネットワーク東大阪、東大阪市ボランティア連絡会と「ふれあい広場」や「まちづくりフェスタ」を協働で開催し、多くの市民に広くPRすることができた。また、前年度より（仮称）市民活動支援センター設立準備会（世話人会）を計14回、また作業部会を4回開催し、市が設置した「検討委員会」に働きかけて、「（仮称）東大阪市市民活動センター設置に向けての提言書」に反映させることができた。
ボランティア養成講座については11講座16コースで、延べ参加人数2,708名の市民が受講され、ボランティア活動に対する関心が深まり、修了後はボランティアグループに加入するなど実践へつながった。地域における子育ての相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業においては、会員登録529名、活動件数は2,549件となり、前年度に比べて横ばい状態であった。
3. コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業においては、市民が身近なところで相談ができるよう、全てのリージョンセンター（市民プラザ）で、CSWによる「福祉の出張相談コーナー」を開設することができた。
さらに、CSWの連携強化やスキルアップを図るために、事例検討会、他市CSWとの交流、情報交換を行い、この事業のスーパーバイザーとともに地域の福祉力を高めることに努め、セーフティネットの構築を強化した。
4. 2カ所の基幹型地域包括支援センターは、市内の地域包括支援センターの取りまとめ役と在宅介護支援センターを含む東大阪市高齢者地域ケア会議の運営に重点をおき各種事業に取り組んだ。
地域包括支援センター事業では、介護予防ケアマネジメント業務をはじめ、介護予防教室の開催、特定高齢者への介護予防プログラムへの参加の働きかけ、虐待ケースを含む総合相談業務を実施した。
また、東大阪市高齢者地域ケア会議活動では定例の地域ケア会議の開催、認知症高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりの取り組みとして、認知症を知る地域講演会開催や認知症相談窓口パンフレット改訂版の配布等を実施した。
また、東大阪市高齢者虐待防止ネットワーク事業ではその中心的機関として虐待の疑われる高齢者の集約、関係機関との連携、対応等虐待防止に取り組んだ。

5. 地域福祉権利擁護事業は、事業名称が「日常生活自立支援事業」に改められた。

この事業では、増加傾向にある利用希望者への待機を解消し、迅速な対応を図るためサービス拠点を一カ所にまとめるとともに職員の増員をおこない、「日常生活自立支援センター」として独立したセクションに位置づけ、業務の拡大と充実を図った。

その結果、サービス実施ケースは112件となり、昨年度末82件から30件の増加となった。

また、関係機関からの相談が延べ3,297件あり、今後も相談やサービスの利用希望が増えると予想されるため、スタッフの一層の拡充と効率的な事業を行っていく。

6. 指定管理者施設として運営している4カ所の施設（高齢者サービスセンター、五条老人センター、高井田老人センター、楠根デイサービスセンター）については、施設運営のあり方が注目される状況の中で、地域に根付いた市民の拠点施設として利用者の増加を図ってきた。

特にデイサービス事業においては、利用定員枠を満たすために利用者の拡大をめざし、毎土曜日・祝日等も開所するなど、介護報酬の収入増を図り、サービスの質の向上にも努めた。

I. 法人運営

1. 三役会・理事会・評議員会の開催

1) 三役会の開催

日 時	会 議 名	案 件
5/21 10:30~	三 役 会	1)平成18年度 社協一般会計 補正予算(第3回)の件 2)平成18年度 社協事業報告の件 3)平成18年度 社協一般会計 収支決算 認定の件 4)社会福祉協議会会員募集の件 5)ﾀﾞｲﾔﾓﾝ 婚・金婚夫婦のつどい準備委員会設置の件
9/5 11:00~	三 役 会	1)不動産取得の件
2/13 16:00~	三 役 会	1)社会福祉大会における役割分担の件
3/28 10:30~	三 役 会	1)平成19年度 補正予算(第3回)の件 2)平成20年度 事業計画(案)、予算(案)の件 3)平成20年度 受託事業、指定管理事業契約締結の件 4)歳末たすけあい運動 配分事業の件 5)平成19年度 共同募金運動実績報告の件 6)平成20年度 東大阪地区募金会収支予算(案)の件

2) 理事会の開催

日 時	会 議 名	案 件
5/21 11:00~	第210回理事会	1)平成18年度 社協事業報告の件 2)平成18年度 社協一般会計 収支決算 認定の件 3)職員及びホームヘルパー 給与規程一部改定の件 4)評議員選任の件 5)平成19年度 社協会員募集の件 6)ﾀﾞｲﾔﾓﾝ 婚・金婚夫婦のつどい準備委員会設置の件
5/30 13:15~	第211回理事会	1)会長、副会長選任の件 2)常務理事指名の件 3)参与選任の件 4)評議員選任の件
9/7 11:00~	第212回理事会	1)特別委員会委員委嘱の件 2)平成19年度 社協一般会計 補正予算の件 3)社会福祉大会準備委員会設置の件 4)平成19年度 歳末たすけあい運動実施の件 5)平成19年度 共同募金運動実施の件
12/10 10:00~	第213回理事会	1)社協 一般会計 補正予算(第2回)の件 2)平成19年度 歳末たすけあい運動 配分事業の件 3)評議員選任の件 4)特別委員会委員選任の件 5)平成19年度 共同募金運動 実績(中間)報告の件

3/28 11:00~	第214回理事会	1)平成19年度 歳末たすけあい運動 配分事業報告の件 2)評議員委嘱の件 3)玉串保育園給与規程則及び就業規則改定の件 4)居宅介護支援事業所一部閉所の件 5)平成19年度 補正予算(第3回)の件 6)平成20年度受託事業、指定管理事業契約締結の件 7)平成20年度 事業計画(案)、予算(案)の件
----------------	----------	--

3) 評議員会の開催

日 時	会 議 名	案 件
5/21 13:30~	第168回評議員会	1)平成18年度 社協事業報告の件 2)平成18年度 社協一般会計 収支決算 認定の件 3)職員及びホームヘルパー給与規程一部改定の件 4)理事及び監事選任の件 5)平成19年度 社協会員募集の件 6)タヤモト 婚・金婚夫婦のつどい準備委員会設置の件
5/30 14:00~	第169回評議員会	1)理事選任の件 2)会長、副会長選任の件 3)常務理事指名の件 4)参与選任の件
9/7 13:30~	第170回評議員会	1)特別委員会委員委嘱の件 2)社会福祉大会準備委員会設置の件 3)平成19年度 一般会計補正予算(第1回)の件 4)平成19年度 歳末たすけあい運動配分事業実施の件 5)平成19年度 共同募金運動実施の件
12/10 13:30~	第171回評議員会	1)理事選任の件 2)社協 一般会計 補正予算(第2回)の件 3)平成19年度 歳末たすけあい運動 配分金事業の件 4)平成19年度 共同募金運動 実績(中間)報告の件
3/28 13:30~	第172回評議員会	1)平成19年度 歳末たすけあい運動 配分事業報告の件 2)玉串保育園給与規程則及び就業規則改定の件 3)居宅介護支援事業所一部閉所の件 4)平成19年度 補正予算(第3回)の件 5)平成20年度受託事業、指定管理事業契約締結の件 6)平成20年度 事業計画(案)、予算(案)の件

2. 運営委員会の開催

1) 総務委員会

日 時	案 件
5/11 14:00~	1)平成18年度 社協一般会計 補正予算(第3回)について 2)平成18年度 社協事業報告の件 3)平成18年度 社協一般会計 決算報告の件 4)平成19年度 社協会員募集について(賛助会員・組織構成会員)
8/28 14:00~	1)社協賛助会費 中間報告について 2)組織構成会費 加入状況について 3)平成19年度 社協一般会計 補正予算(第1回)について 4)平成19年度 共同募金運動実施の件 5)平成19年度 歳末たすけあい運動 配分金事業実施の件
11/27 14:00~	1)平成19年度 共同募金運動 実績(中間)報告について 2)平成19年度 社協一般会計 補正予算(第2回)について 3)平成19年度 歳末たすけあい運動 配分事業の配分について
3/19 10:00~	1)社協会員制度 報告(賛助会員・組織構成会員) 2)平成19年度 共同募金運動 実績報告の件 3)平成19年度 歳末たすけあい運動配分事業実績報告について 4)平成19年度 一般会計 補正予算(第3回)について 5)平成20年度 受託事業(案)について 6)平成20年度 社協事業計画(案)及び予算(案)について

2) ボランティア・市民活動委員会

開催日	議 事 内 容
H19 5/9	1) 報告事項 ・ボランティア活動推進関係の報告 ・ボランティア基金累計額の報告 ・ねたきり高齢者見舞品贈呈事業報告 ・火災見舞品給付報告 ・ファミリー・サポート・センター事業現況報告 2) 審議事項 ・平成18年度 補正予算(案)第3回及び決算報告について ・平成18年度 事業報告について ・福祉施設会主催「ふれあいホリデー」開催に伴う払出について ・ボランティア基金ダイレクトメール発送について
8/21	1) 報告事項 ・ボランティア活動推進関係の報告 ・ボランティア基金累計額の報告 ・交通遺児激励金給付事業の報告 ・福祉施設会主催「ふれあいホリデー」開催に伴う払出について ・「夏季林間学校」事業報告 ・河内地区児童福祉施設「交歓ソフトボール大会」払出の報告 ・ファミリー・サポート・センター事業現況報告 2) 審議事項 ・心身障害者(児)1日レクリエーション事業の実施について ・福祉施設会主催「合同運動会」開催に伴う払出について ・ボランティア基金ダイレクトメール発送について
11/20	1) 報告事項 ・ボランティア活動推進関係の報告 ・ボランティア基金累計額の報告 ・ボランティア基金ダイレクトメールの成果(中間報告) ・福祉施設会主催「合同運動会」の報告 ・ファミリー・サポート・センター事業現況報告 2) 審議事項 ・「ねたきり高齢者見舞品」贈呈事業の実施について ・「施設児童・里親家庭児童小学校入学祝品及び全児童への激励品」贈呈事業について ・ふたば里親会30周年記念事業の助成について ・平成20年度の善意銀行関係事業について
3/17	1) 報告事項 ・ボランティア活動推進関係の報告 ・ボランティア基金累計額の報告 ・「ねたきり高齢者見舞品」贈呈事業の実施について(中間報告) ・「施設児童・里親家庭児童小学校入学祝品及び全児童への激励品」贈呈事業の報告 ・ふたば里親会30周年記念事業の助成の報告 ・ファミリー・サポート・センター事業現況報告 2) 審議事項 ・平成19年度 第3回補正予算(案) ・平成20年度 事業計画(案) ・平成20年度 予算(案) ・交通遺児激励金給付事業について ・平成20年度の善意銀行関係事業について ・ボランティア基金の運用について ・ボランティア基金チャリティーコンサートについて

3) 玉串保育園経営委員会

開催日	案 件
5/8	平成18年度 玉串保育園事業報告、決算報告について 玉串保育園給与規程一部改定について
8/17	玉串保育園調理室改修工事について 平成19年度 玉串保育園(第1回)補正予算について
11/16	玉串保育園(第2回)補正予算について
3/10	平成19年度 玉串保育園(第3回)補正予算について 平成20年度 玉串保育園事業計画(案)及び予算(案)について 玉串保育園就業規則及び給与規則改定について

4) 生活福祉資金貸付調査委員会

日 時	貸付審査件数	日 時	貸付審査件数
4/23 13:30~	3件	11/22 13:30~	4件
5/22 13:30~	1件	12/14 15:30~	1件
6/21 13:30~	4件	1/25 13:30~	2件
8/27 13:30~	1件	2/26 15:30~	8件
9/27 13:30~	2件	3/19 13:30~	8件
10/23 10:30~	1件	計	35件

5) 在宅介護サービス事業委員会

日 時	案 件
5/8 10:30~	1)平成18年度 第3回補正予算案について 2)平成18年度 事業報告について 3)平成18年度 決算報告について 4)運営の概要について
11/29 10:30~	1)事業の概要について 2)非常勤ホームヘルパーにかかる賃金について
3/17 10:30~	1)平成19年度 第3回補正予算案について 2)東大阪市社会福祉協議会ケアプランセンターの閉所について 3)平成20年度 在宅介護関係受託事業契約案について 4)平成20年度 事業計画案について 5)平成20年度 予算案について

6) 広報事業委員会

日 時	案 件
9/10 13:30~	1)第87号機関紙の発行について 2)第88号機関紙の内容について
3/24 10:30~	1)第88号機関紙の発行について 2)第89号機関紙の内容について

7) 職員プロジェクトチーム (別掲)

II. 市民参加による地域福祉活動の確立と活動に対する支援の充実 (みんなですすめる地域福祉づくり)

1. 福祉対策のための基礎調査の実施

訪問相談事業や支援活動に資する要援護者の把握のために毎年実施している5つの調査を本年度も実施した。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1) ダイヤモンド婚・金婚夫婦の調査 | → つどいの開催 |
| 2) ひとり暮らし高齢者調査 | → 福祉票の見直し、訪問相談事業の実施 |
| 3) 高齢者世帯調査 | → 福祉票の見直し、訪問相談事業の実施 |
| 4) ねたきり高齢者の調査 | → 訪問相談事業 |

2. 苦情解決事業の実施

社会福祉法第82条に基づき、福祉サービスの利用者からの苦情の適切な解決を図るため苦情受付担当者、苦情解決責任者、中立的な立場の第三者委員を定めて事業を実施している。

本年度は、苦情解決事業について利用者等からの苦情が8件あり、話し合いの上解決に至った。

苦情受付件数及び解決件数

月別	H19	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H20	1	2	3	合計
受付件数	0	1	1	2	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	8
解決件数	0	1	1	2	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	8

苦情内容：①訪問介護事業における連絡調整の不備、及び対応について（2件）

②保育園事業における保護者への対応について（3件）

③ボランティア希望者、協力者に対する対応について（2件）

④人事異動に伴う、職員の入れ替えについて（1件）

3. 福祉事業の充実

1) 高齢者福祉対策事業の展開

(i) 敬老事業（P12に別掲）

- ・各校区福祉委員会で実施（9月）

(ii) ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい

- ・とき 平成19年10月13日(土)
- ・ところ 東大阪市立市民会館：市民ホール
- ・対象者 ダイヤモンド婚夫婦－221組／金婚夫婦－797組

1) ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい準備委員会の開催

日時	案件
8/23 10:30~	1)第38回ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいの件 (対象者の状況・記念品の選考・役割分担)

(iii) 設立40周年記念 第20回 東大阪市社会福祉大会

- ・とき 平成20年2月29日(金)
- ・ところ 東大阪市立市民会館：市民ホール
- ・内容 第1部 式典
第2部 記念講演 テーマ：「人・街・夢」
講師：パーソナリティー、司会、映画解説
浜村 淳 氏
第3部 映画上映 邦画「明日の記憶」

1) 大会受賞者数一覧

	特別表彰	表彰状	感謝状
受賞者数	101名	91名	338名

2) 第20回東大阪市社会福祉大会準備委員会の開催

日時	案件
9/28 10:30~	1)大会実施要項(案)について 2)表彰状・感謝状推薦基準について
12/10 11:00~	1)表彰者の推薦状況について 2)代表受賞者の選考について 3)大会記念品について

(ロ)ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯訪問相談事業

社協が民生委員児童委員協議会連合会の協力を得て実施している「ひとり暮らし高齢者訪問相談事業」では、民生委員が担当地区のひとり暮らし高齢者を訪問して実態を把握し、大規模災害時にも役立つ「福祉票」を作成した。本年度は「レトルト米」を見舞い品として対象者に配布した。

また、相談窓口をはじめ緊急連絡先を記載し、いざという時に備える「あんしんカード」を作成し、配布した。

- ①対象・・・配偶者及び親族、その他の人と居を共にしないで、ひとりで生活をしている、満65歳以上の高齢者
- ②調査方法・民生委員児童委員協議会連合会の協力により、民生委員が担当地区のひとり暮らし高齢者宅を訪問し、聞き取りにより福祉票に記入する。
- ③実施時期・1月～2月
- ④ひとり暮らし高齢者（対象者数・・・11,238名）
- ⑤高齢者世帯（対象世帯数・・・8,602世帯）

(ホ)ねたきり高齢者調査事業－善意銀行事業－
ねたきり高齢者（対象世帯数・・・360世帯）

2) 児童福祉対策事業の推進

- (イ)交通遺児激励金の給付－善意銀行事業－
- (ロ)施設児童夏季林間学校開催－善意銀行事業－
- (ハ)施設児童及び里親家庭児童小学校入学祝品贈呈事業－善意銀行事業－
- (ニ)母子家庭ふれあいツアーの開催
 - ・とき 平成19年7月28日(土)
 - ・ところ 伊賀の里モクモク手作りファーム
 - ・参加者 市内母子家庭の親と子 計34名(大人16名+子ども18名)

(ホ)保育園児と施設の交流

軽費老人ホーム「玉美苑」入所の高齢者と社協で経営している玉串保育園の園児が、なかよし交流会(6/29)・敬老の日の集い交流会(9/5)、作品展招待(11/29)、もちつき(12/17)、クリスマス会(12/21)や昔の遊びの伝承など、世代間の交流やふれあいを行った。

また、楠根デイサービスセンターへの玉串保育園の園児が訪問を行い世代間交流を深めた。

3) 低所得家庭対策事業の推進

平成19年度 生活福祉資金貸付報告（貸付の決定は府社協）（単位：千円）

月別	H19 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H20 1	2	3	合計
件数	3	1	4	0	1	1	1	4	1	1	8	8	33
金額	2,790	1,170	5,656	0	500	1,500	1,380	4,608	914	1,002	7,871	5,742	33,133

平成19年度 離職者支援資金貸付報告（単位：千円）

月別	H19 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H20 1	2	3	合計
件数	0	1	5	5	4	1	2	3	7	2	1	4	35
金額	0	2,400	9,600	10,800	9,600	2,400	4,800	4,200	12,000	2,400	2,400	8,400	69,000

平成19年度 小口生活資金貸付報告（単位：千円）

月別	H19 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H20 1	2	3	合計
件数	2	6	4	5	3	4	4	3	0	5	9	9	54
金額	200	530	350	500	250	290	350	200	0	450	850	750	4,720

4) 歳末たすけあい募金配分事業

平成19年度 歳末たすけあい募金配分金額	3,751,303円	東大阪歳末たすけあい募金額 NHK歳末たすけあい義援金	2,996,303円 755,000円
-------------------------	------------	--------------------------------	------------------------

事業内容・件数

①「地域福祉活動」(44校区福祉委員会)

会食会	配食サービス	世代間交流	ふれあい活動	子育て支援	外双会	蘇プレ以外の駒	高齢安全教室	ミニサービス	計
19	7	2	4	1	1	8	1	1	44件

②「地域交流事業」(14福祉作業所)

外双会	餅つき大会	ふれあい交歓	計
4	6	4	14件

③子育て支援交流事業(18子育て支援グループ)

外双会	地域交流会	計
14	4	18件

④ボランティア交流事業(東大阪ボランティア連絡会)

- ・東大阪ボランティア新春のつどい開催
- ・第10回「東大阪ふれあい夢フェスティバル」実施

⑤研修・交流事業(校区福祉委員会連絡会)

- ・校区福祉委員会連絡会研修会「新春のつどい」開催

5) 善意銀行事業の展開

平成19年度 善意銀行預託及び払出報告

預託の部

預託口座	件数	内容
金銭口座	88	¥9,299,334
物品口座	55	文具用品、節分用豆、クリスマスケーキ、おもちゃ、車いす他
合計	143	

払出の部

預託口座	件数	内容
金銭口座	28	¥8,939,801
物品口座	153	文具用品、節分用豆、クリスマスケーキ、おもちゃ、車いす他
合計	181	

(イ)交通遺児激励金の給付(25名)内小学校入学1名・中学校入学2名・高校進学又は就職4名

(ロ)心身障害者(児)一日レクリエーションの開催

- ・とき 平成19年11月27日(火)
- ・ところ 海遊館
- ・参加者 89名(市内作業所に通う心身障害者(児)及び付添の方)

(ハ)施設児童夏季林間学校の開催

- ・とき 平成19年8月9日(木)~10日(金)
- ・ところ ワールド牧場、関西サイクルスポーツセンター
- ・参加者 市内4カ所の児童養護施設45名参加

(ニ)ねたきり高齢者への見舞品(敷きパット)配付(360世帯)

(ホ)施設児童および里親家庭児童小学校入学祝品贈呈(16名)

6) 受託事業の推進

- (イ) 高齢者軽度自立生活支援等事業の推進（別掲）
- (ロ) 老人大学講座「悠友塾」の開催（別掲）
- (ハ) シバ・ハリウツグ 生活援助員派遣事業の推進（別掲）
- (ニ) 要介護認定調査事業の推進（別掲）
- (ホ) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業・大阪府社協）の推進（前掲）
- (ヘ) 自動車「ことぶき号」運行事業の実施

平成19年度 自動車運行業務報告

月別	H19 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H20 1	2	3	合計
運行日数	22	20	21	15	4	15	24	25	7	18	13	14	198
走行距離 Km	2,211	1,939	2,066	1,412	382	1,461	2,057	2,986	734	1,765	1,170	1,345	19,528
乗車人数	661	633	675	421	116	463	736	787	189	532	397	431	6,041

（※利用料＝1回、5,000円）

(ト) 東大阪市在宅老人介護者のつどい（リフレッシュ事業）の実施

○リフレッシュ事業（日帰り）

- ・と き：平成19年6月16日(土)
- ・ところ：丹波方面（さくらんぼ狩り）
- ・参加者：在宅でねたきり高齢者や認知症高齢者を介護している市民 14名

○リフレッシュ事業（一泊二日）

- ・と き：平成19年10月20日(土)～21日(日)
- ・ところ：三重県、鳥羽方面／施設研修「特別養護老人ホーム 花みずき」見学
- ・参加者：在宅でねたきり高齢者や認知症高齢者を介護している市民 17名

(ヲ) ねたきり高齢者、高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者調査の実施（別掲）

(ウ) 市政だより、議会だより、ゴミのお知らせの録音版、点字版の製作（ボランティアグループで製作）

7) 介護保険事業の展開

- (イ) 居宅介護支援事業所での居宅介護支援事業（2カ所）の実施（別掲）
- (ロ) 居宅介護サービス事業所での訪問介護事業（2カ所）の実施（別掲）
- (ハ) 通所介護サービス事業所での通所介護事業（2カ所）の実施（別掲）

8) 指定障害福祉サービス事業の展開

- (イ) 居宅介護サービス事業所での居宅介護事業（2カ所）の実施（別掲）

9) 玉串保育園の運営（別掲）

Ⅲ. 市民サイドにたった福祉・介護サービスの推進

（だれもが使いやすい福祉・介護サービスづくり）

1. 福祉意識の高揚

- 1) 市民福祉講座の開催 テーマ：「あなたの出番です！～次のステップ考えてみませんか？～」

8/29 9:15-12:30	総合福祉セカ- 参加者(49名)	講演1.「地域ボランティアのすすめ」 (講師)華頂短期大学社会福祉学科 准教授 名賀 亨 氏 講演2.「わたしが見つけた次のステップ～特技を生かした地域参画～」 (講師)東大阪市社会教育センターまちのすぐれもの登録者 山下 文夫 氏
8/31 9:15-12:30	総合福祉セカ- 参加者(40名)	講演3.「わたしが見つけた次のステップ～ボランティアとしての地域参画～」 (講師)東大阪市ボランティア連絡会 会長 福永 忠 氏 講演4.「わたしが見つけた次のステップ～NPOでの地域参画～」 (講師)NPO法人 ニッポン・アソシエーション(NALC=加) 会長 高畑 敬一 氏 講演5.「仲間を作ろう」 (講師)東大阪市レクリエーション研究会 宮田 耕造 氏

2) 講演会&映画「筆子・その愛—天使のピアノ—」上映会の開催

3/15 12:30-16:30	ラインシネマ 10南館 参加者 350名	講演「障害の子と共に—母として映画監督として」 (講師) 山田 火砂子氏 (映画) 「筆子・その愛—天使のピアノ—」監督 「筆子・その愛—天使のピアノ—」上映 (主演:常磐貴子)
---------------------	-------------------------------	---

2. 校区福祉委員会活動の推進

1) 校区福祉委員会連絡会等の開催

於: 社協会議室

日 時	事業名	内 容
4/26 14:00~	委員会連絡会	1)年間事業計画について 2)交通遺児激励金の給付について 3)小地域ネットワーク活動推進事業について 4)役員の選出について
5/29 14:00~	委員会連絡会	1)社協賛助会員の募集について 2)敬老事業について 3)ダイヤモンド婚・金婚夫婦の申込みについて 4)小地域ネットワーク活動推進事業について
8/3 14:00~	委員会連絡会	1)敬老事業について 2)ダイヤモンド婚・金婚夫婦の集いの申込確認について 3)社協賛助会費の中間報告について 4)小地域ネットワーク活動推進事業について
9/18 14:00~	正副委員長会	1)歳末たすけあい運動配分金事業について 2)小地域ネットワーク活動推進事業について 3)部会について
10/12 14:00~	委員会連絡会 (合同会議)	1)歳末たすけあい運動配分金事業について 2)東大阪市社会福祉大会について 3)小地域ネットワーク活動推進事業について 4)部会について
2/20 14:00~	委員会連絡会	1)災害時要援護者登録制度の名簿について 2)健康危機管理について 3)緊急連絡網について 4)校区福祉委員会連絡会研修会活動報告、案件について 5)タウンミーティングについて
3/5 12:00~	委員会連絡会	1)ボランティア保険の更新について 2)交通遺児激励金の給付について 3)校区福祉委員会委員長の就任報告書について 4)校区福祉委員会女性部会員の報告書について 5)緊急連絡網について 6)校区福祉委員会助成金申請書について 7)小地域ネットワーク活動実施報告書及び実施計画書について

2) 各部会の開催

於: 社協会議室

日 時	事業名	内 容
7/11 14:00~	高齢者部会	1)敬老事業について
1/16 14:00~	小地域活動部会	1)小地域ネットワーク活動について 2)校区福祉委員会連絡会 研修会について

3) 校区福祉委員会連絡会研修会の実施

於：ホテルアウィーナ大阪

日 時	事 業 名	内 容
1/28	連絡会研修会 参加数71名	テーマ：「これからの東大阪市の福祉について」 講 師：東大阪市長 野田 義和 氏 質疑応答・意見交換
3/5	連絡会研修会 参加数56名	テーマ：「校区福祉委員会活動報告」 講 師：玉川校区福祉委員会 委員長 平井 時彦 氏 女性部会 中山 勢津子 氏 三ノ瀬校区福祉委員会 委員長 岩上 公作 氏 加納校区福祉委員会 委員長 岩崎 尚毅 氏 女性部会 江頭 保子 氏

4) 小地域ネットワーク活動研修会の実施

於：社協会議室

日 時	事 業 名	内 容
6/28	小地域ネットワーク活動研修会 参加数84名	テーマ：「お口から始まる健康」 講 師：歯科衛生士 小林 由美子 氏 テーマ：「みんなで考える“活動的な85歳”のために」 講 師：東大阪市保健所 中保健センター 今仲 恵子 氏

5) 小地域ネットワーク活動の支援

- ①小地域ネットワーク活動タウンミーティング（地域懇談会）
八戸ノ里（12/16）
- ②いきいきサロン等の支援（縄手南、縄手上四条、池島、孔舎衛、加納、花園、長堂、三ノ瀬、永和、高井田西、弥刀、上小阪）
- ③介護予防教室開催の支援（縄手上四条、孔舎衛、加納、花園、三ノ瀬、高井田西、弥刀）
- ④災害時要援護者等防災訓練の支援（縄手北、鴻池東、加納、英田北、岩田西、長瀬東）
- ⑤校区福祉委員研修会の支援（加納、玉美）
- ⑥小地域ネットワーク活動リーダー研修会（1/24）への参加（大阪国際交流センター）
- ⑦小地域ネットワーク活動推進・運営に関する支援（縄手上四条、菱屋西、柏田）

6) 小地域ネットワーク活動の展開

- ①実施校区福祉委員会：全45校区
- ②活動内容
 - 個別援助活動：見守り・声かけ訪問、配食サービス
 - グループ活動：ふれあい食事会、いきいきサロン、世代間交流、子育て支援活動、ミニデイ、グラッドゴルフ、日帰りバスツアー、研修会
- ③小地域ネットワーク活動「介護予防事業」・メニュー事業実施状況

小地域ネットワーク活動「介護予防事業」	実施校区数	実施回数
①運動実技指導	10	23
②口腔衛生指導	9	10
③栄養指導	5	5
④健康講座	14	24
⑤認知症体験者養成講座	7	7
⑥ボランティアスクール	0	0
⑦広報啓発活動	1	1
小地域ネットワーク活動 メニュー事業	実施校区数	実施回数
⑧災害時要援護者等防災訓練	8	8
⑨タウンミーティング（地域懇談会）	1	1

7) 敬老大会実施校区への支援

縄手南、縄手上四条、枚岡西、成和、鴻池東、長堂、高井田東、菱屋西、永和、太平寺、高井田西、長瀬東、楠根（計13校区）

8) 各種研修、行事への参加協力

東大阪市高齢者地域ケア会議 全体研修会、地域別会議

3. ボランティア活動の推進

今までのボランティアセンターを中心に、校区福祉委員会や福祉団体、ボランティアグループなどとの連携・協力関係の構築を目指す活動拠点として「市民福祉活動センター」を設置して4年目となった。

「地域で住みよいまちづくり」を目指して協働していくための拠点確保のために、（仮）市民活動支援センター設立準備会を開催し、市が設置した「検討委員会」に働きかけた。詳細は以下の通り。

1) 基盤整備事業

(1) 活動拠点としての会場、機材等の貸出

① 会議室等の提供 888回（内訳：Vグループ668回、講座関係94回、会議等126回）

② 機材の貸出 76回（内訳：車いす46回（介助用25回、学習用21回）、点字器11回、アイマスク2回、高齢者疑似体験用具4回、その他13回）

(2) 東大阪市ボランティア基金の拡充

① ダイレクトメールによる協力の呼びかけ

② 平成19年度 ボランティア基金積立実績額（138,595,890円）

年 度	寄付者の内訳			積 立 額	累 計 額
	企 業	団 体	個 人		
H19	44	17	35	1,646,550	138,595,890
累 計	971	647	737		

(3) ボランティアサロン（愛称あいあいサロン）の開催

概ね、毎月第3もしくは第4土曜日 年4回 延べ参加人数196名
（6/23、9/1、12/1、2/2）

(4) 市民福祉活動の新たな拠点を確保するための取り組み

①（仮称）市民活動支援センター設立準備会の開催

市民福祉活動団体との協働、また市民活動の新たな拠点確保のために、ボランティア・NPO法人・市民活動団体と積極的に情報交換・意見交換を行い、協働のまちづくりを推進するために、前年度より（仮称）市民活動支援センター設立準備会世話人会を計14回、また、作業部会を4回開催し、市が設置した「検討委員会」に働きかけて、「（仮称）東大阪市市民活動センター設置に向けての提言書」に反映させることができた。

② NPO、市民活動団体との協働事業

「東大阪ふれあい広場」や「まちづくりフェスタ」でボランティア、NPO法人、市民福祉活動団体との連携・協働の事業を実施し、多くの市民に広くPRを行った。

2) 需給調整

(1) 受付内容別件数

合 計	活動希望	NPO関係	情報提供	会場機材	相 談	ニーズ依頼	そ の 他
891(100.0%)	106(11.9)	4(0.4)	23(2.6)	30(3.4)	249(28.0)	271(30.4)	208(23.3)

市民福祉活動センターで、この一年間受け付けたケースは891件で月平均74件となった。

受付件数の多かった「ニーズ依頼」271件の内容は、施設の行事援助や演芸訪問、福祉事務所や介護保険事業所等からのニーズ（話し相手や家事援助、病院内での洗濯など）、学校から手話や点字、車いす介助法の指導依頼など多岐にわたった。次に多かった「相談」249件の内容は、ボランティアグループの結成や運営、社会資源の利用、事業等におけるボランティアセンターへの協力依頼についてであった。次に「活動希望」106件の内容は、障害者当事者（精神障害者など）が「自分にもできるボランティアがしたい。」と来所するケースや、退職を前にした「団塊の世代」の方が退職後の生活の充実を求めてボランティア相談に来所するケースが増加した。

(2) 対象者の状況別ニーズ内容

ニーズ内容	対象者の状況							合 計	%
	施設	行政	団体	児童	障害者	高齢者	その他		
a. 保 育								0	0.0%
b. 遊び, 話相手					1			1	0.4%
c. 学 習 指 導			1	16				17	6.3%
d. 見 守 り		3	3	2	37			45	16.6%
e. 通学通園介助								0	0.0%
f. 外 出 介 助					7	3		10	3.7%
g. 視覚障害者ガイド					2			2	0.7%
h. 入院通院介助					7	4		11	4.1%
i. 手 話 通 訳	1	1	1		6			9	3.3%
j. 点 訳	1				3			4	1.5%
k. 朗 読					11	2		13	4.8%
l. 要 約 筆 記			1					1	0.4%
m. 調 理								0	0.0%
n. 介 助 介 護								0	0.0%
o. 入 浴 介 助								0	0.0%
p. 食 事 介 助								0	0.0%
q. 買 い 物					2	1		3	1.1%
r. 清 掃								0	0.0%
s. 洗 濯							1	1	0.4%
t. 他家事援助								0	0.0%
u. 行 事 援 助	2	1	1	4	18	28	6	60	22.1%
v. 演 芸 訪 問			3	2	8	75	1	89	32.8%
w. 理 容 ・ 美 容						2		2	0.7%
x. 技 術 技 能 提 供						1		1	0.4%
y. そ の 他					1	1		2	0.7%
合 計	4	5	10	24	103	117	8	271	100%
	1.5%	1.8%	3.7%	8.9%	38.0%	43.2%	2.9%	100%	

ボランティアを希望される対象者の状況別ニーズ内容の総件数は271件であった。

対象者の状況は「高齢者」「障害者」「児童」の順で多く、ニーズ依頼内容は「演芸訪問」「行事援助」「見守り」の順で多かった。特に施設からの依頼は、外部からの「風」「楽しいひとときの提供」を求めていることが多く、お誕生会などでの演芸訪問のボランティア募集が多くなる傾向である。

(3)受付内容別対処方法

対 処 内 容	活動希望	NPO相談	情報提供	会場機材	相談援助	二ド 依頼	その他	合 計	%
a.Vバンク登録	14							14	1.6%
b.グループ紹介	32				1			33	3.7%
c.V活動紹介	7				1			8	0.9%
d.保留(再考)	2				2	1		5	0.6%
e.情報の提供	1		11	1	34			47	5.3%
f.資料の提供	1		8		19		1	29	3.3%
g.講師の紹介					1	1		2	0.2%
h.相談援助	39	1	1	2	142	2	2	189	21.2%
i.講座の案内	5				3			8	0.9%
j.Vバンク調整						237		237	26.5%
k.他機関等紹介	3		1		33	1	2	40	4.5%
l.制度施策紹介					1			1	0.1%
m.不 受 理				1	4	1		6	0.7%
n.調 整 中						8		8	0.9%
o.調整できず					2	14		16	1.8%
p.取り下げ	1		1	2		6		10	1.1%
q.物品の寄託					3		101	104	11.7%
r.会場の提供		1	1	5				7	0.8%
s.資材機材提供				19	1			20	2.2%
t.そ の 他	1	2			2		102	107	12.0%
合 計	106	4	23	30	249	271	208	891	100%
	11.9%	0.4%	2.6%	3.4%	28.0%	30.4%	23.3%	100%	

受付内容別対処方法では、登録ボランティアバンクからの施設・団体等への「演芸訪問」「行事援助」「見守り」へのケースに対する派遣が最も多く、次にボランティア活動希望者・ボランティアを導入する希望施設等への「相談援助」、古切手・使用済みカード等の「物品の寄託」が多かった。

しかし、施設等からの相談で、すでに日程等を決めた状態での相談や、短期間で「ボランティア講師」の紹介を求められるケースは、調整が困難であった。

3) ボランティア養成事業

(1) ボランティア養成講座、研修会等の開講：11講座 16コース
(年間受講人数494名、延べ参加人数2,708名)

講 座 名	開 催 期 間	会 場	受講者(延べ人数)
①手話教室(入門・基礎)	4/18~2/13 計40回	社協 会議室	34名(842)
手話教室(入門・基礎)	4/18~2/20 計40回	イコーラム	22名(578)
手話教室(入門・基礎)	4/17~2/12 計40回	ゆうゆうプラザ	10名(223)
②日赤家庭看護法講習会	5/28~6/18 計7回	社協 会議室	14名(99)
③ボランティア活動体験講座			
(J-1)福祉施設でのボランティア活動体験	7/1~8/31	市内福祉施設等	158名(313)
(J-2)車いす体験教室	7/28	社協 会議室	9名(9)
(J-3)ボランティア体験ワークショップ	9/15~16 (一泊二日)	信太山青少年 野外活動センター	42名(42)
④朗読ボランティア養成講座 フォローアップ講座	6/18~7/27 計10回 9/14~10/12 計4回	社協 会議室 社協 会議室	29名(295) 18名(57)
⑤精神保健福祉 ボランティア養成講座	9/13~10/11 計4回	社協 会議室	12名(57)

⑥入門ボランティアスクール	10/29～11/19	計4回	社協 会議室	12名(41)
⑦傾聴ボランティア養成講座	11/15、22	計2回	社協 会議室	15名(27)
⑧視覚障害者外出介助 ボランティア養成講座	1/29、31	計4回	社協 会議室	6名(12)
⑨施設ボランティア ボランティアリーダー研修会	2/22		社協 会議室	40名(40)
⑩ソシアリティ講座	3/17		高井田老人センター	14名(14)
⑪東大阪ボランティア研究集会	11/18		社協 会議室	59名(59)

※注 1.手話教室は各開催場所の若江岩田、日下リージョンセンター企画運営委員会との共催
2.日本赤十字家庭看護法講習会は東大阪市赤十字奉仕団との共催

4) 広報啓発活動

- ①収集ボランティア運動の展開 使用済みテレホンカード売却益 29,081円
書き損じハガキを交換、売却益 19,000円
- ②第30回「東大阪市民ふれあい祭り」への参加(5/13)模擬店、バザー
- ③まちづくりフェスタへの参加(2/23)パネル展示、遊び場コーナー
- ④ボランティア情報テレホンガイド「テレサ」受付件数613件、月平均51件
市民福祉活動センターに専用回線を設置して、朗読ボランティアグループ「風」の協力により、3分のテープで1週間毎に市政だよりや雑誌、一般新聞から福祉やボランティア活動関係の情報を録音し、24時間いつでも、どこでも聞くことができるテレホンサービスを行ってきた。内容は毎週金曜日の午後に更新している。
- ⑤東大阪ケーブルテレビ「福祉ボランティアほっとニュース」放映のビデオテープの提供
ボランティアグループ「ばっちりビデオレポーターの会」による撮影・編集
- ⑥ボランティアOSAKA(季刊)、福祉おおさか、
市内ミニコミ誌(エコ東大阪、ばど等)への記事掲載
- ⑦ホームページのリニューアル

5) 相談援助・機材貸出

- ①グループ活動への相談援助等：ボランティアコーディネーターの8グループ例会出席他
- ②特定非営利活動法人(NPO法人)への相談援助：助成金申請、機材の貸し出し等
- ③「ボランティア体験学習」活動の相談援助、講師派遣
- ④学校関係へのボランティア活動相談援助
市内の小中学校9校、中学校4校、高校1校、専門学校1件、大学2件(延べ20件)へ
車いす・点字器・アロマの貸出、体験学習指導者等(ボランティア・当事者)の紹介

6) 調査研究・開発

(1)連絡会議・研修会の参加

- ①市町村社協ボランティアコーディネーター研修会… 8/6
- ②市町村社協ボランティアリーダースキルアップ研修会… 2/18
- ③災害ボランティアリーダー養成研修… 11/5～7
- ④地域福祉課題セミナー… 12/10
- ⑤全国校区地域福祉活動サミットin豊中… 10/6
- ⑥市町村ボランティア連絡会関係会議… 5/14、11/13、2/14
- ⑦朗読ボランティア関係会議… 2/25

(2)ボランティア意識調査の実施

- ①ボランティアグループ・NPOの組織・活動に関するアンケート(対象：210団体)
- ②ボランティア活動に関するアンケート(対象：2,419人)

7) ボランティア連絡会・委員会等の開催

(1)ボランティア連絡会の開催

- ①総会(事業・決算報告、事業計画・予算) 5/26
- ②役員会(毎月第1火曜日) 計12回
- ③幹事会(毎月第3金曜日) 計12回

(2) ボランティア連絡会との共催事業

- | | |
|------------------|---------|
| ①ボランティア体験ワークキャンプ | 9/15～16 |
| ②東大阪ふれあい広場 | 10/21 |
| ③東大阪ボランティア研究集会 | 11/18 |
- 「そのとき、あなたには何が出来る？」～災害ボランティアの役割と仕組みから考える～
(災害ボランティア立ち上げプロジェクト)

(3) 各委員会の開催

- | | |
|--------------------------|------|
| ①「利権カド」の企画編集チーム会議（テレサ会議） | 計 3回 |
| ②東大阪ボランティア研究集会実行委員会 | 計 4回 |
| ③あいあいサロン企画委員会 | 計 6回 |
| ④手話教室をすすめる会 | 計 6回 |

8) 勤労者のためのボランティア活動

- (1) 勤労者のボランティア活動体験プログラムの実施 ①梅の実収穫見守りボランティア 6/3
参加人数 23名（梅の実収穫参加者約500名）

9) 小地域ネットワーク活動実施校区との連携

- (1) 小地域ネットワーク活動事業へのボランティア参加協力（延べ24回）
（池島、成和、加納、弥栄、岩田西、花園北、荒川、長堂、森河内、太平寺、長瀬南、弥刀東、上小阪、八戸ノ里東）

4. 当事者組織活動の推進

1) 老人介護者家族の会活動の支援

老人介護者家族の会「ふれあいネットワーク」は、“介護者がひとりで悩まずに手をつなぎ、お互いが不安や悩みを話し合い、情報や意見を交換するとともに、介護をする上で必要な知識や技術を学ぶ”ことを目標に平成6年4月20日に結成され13年目を迎えた。東大阪市社協としても設立当初から介護者家族の会の事務局として積極的な援助を行っている。

- (1) 機関紙「昂（すばる）」の編集発行（年4回発行）
(2) 地区別交流会及び相談例会等の開催

2) 日帰りリフレッシュ事業の実施（老人介護者家族の会と共催）

10/31（水） 「信貴山方面」 40名参加

3) ひとり暮らし高齢者の会の設置促進及び活動支援

- ①福祉委員会が行う“ひとり暮らし高齢者の会”運営の援助
②「ひとり暮らし高齢者の会」の援助

成和、岩田西、英田南、八戸ノ里の各校区にひとり暮らし高齢者の会が結成されており、活動プログラムの作成や活動の援助などを行っている。

4) ひとり暮らし高齢者等へのふれあい福祉電話サービス

東大阪市社協では、ボランティアグループ「はだしの会」の協力を得て、ひとり暮らし高齢者を対象に安否の確認と話し相手、相談援助を行う「ふれあい福祉電話サービス」を実施している。福祉電話を設置しているひとり暮らし高齢者を中心に、五条老人センター、高井田老人センター及び高齢者サービスセンターに設置された、シルバーボランティアセンターから安否の確認と話し相手、相談援助を行っている。

5) 子育てサークルの設置促進及び活動支援

- ①校区福祉委員会が行う“子育てサークル”活動の援助
②市内にある子育てサークルへの活動を支援する目的で、「歳末たすけあい運動」配分事業により、年末・年始の期間に行う交流事業に対し、申請のあった子育てサークルに配分金を配分し、活動支援を行うもの。（別掲）

5. 連絡調整活動の展開（関係機関・団体との連携）

- 1) 福祉団体の支援（福祉団体の事務局としての機能）
 - 赤十字奉仕団
 - 老人クラブ連合会
 - 母子寡婦福祉会
 - 身体障害者福祉協会
 - 手をつなぐ親の会
 - 精神障害者家族会（さつき会）
 - 遺族会
 - 傷痍軍人会
 - 原爆被害者の会
 - 福祉施設会
 - 私立保育会
 - 民生委員児童委員協議会連合会
 - 高齢者介護施設会
 - 保護司会
 - 子どもの相談機関連絡協議会
 - 人権擁護委員会
 - ボランティア連絡会
 - 介護支援専門員連絡会
 - 介護者家族の会
- 2) 各団体の自主的事業の支援（社明運動、人権啓発、日赤社資募集等）
- 3) 府社協等関係機関との連携協力
- 4) 他団体等が行う事業に対する後援

6. 災害時支援活動の展開

- 1) 「災害時支援ボランティア」の登録
市内で大規模災害が発生した場合や近隣の市町村で災害が発生したときに、ボランティア活動を円滑に、安心して活動できるように昨年度に引き続きボランティア登録制度の啓発・推進を行った。
- 2) 小地域ネットワーク活動の充実
災害時の取り組みについては、被災直後の地域住民同士の助け合いから、本格的な復興に向けての取り組みまで、その基盤となる平時からの地域でのつながりが最も大切であることは明らかである。日ごろから地域福祉活動の中心として活動実践している校区福祉委員会が社会福祉協議会と連携して、日ごろの活動をいかし、地域住民とともにその地域を守るために、要援護者の支援活動を基本とした防災訓練に取り組んだ。（8校区福祉委員会で実施）
- 3) 東大阪ボランティア研究集会の開催（11/18）
被災時における社協の役割である災害ボランティアセンターには、被災者・要援護者のニーズを中心とした上での他団体との協働や迅速で柔軟な運営が求められている。今回、東大阪社協と東大阪ボランティア連絡会との共催で、「そのとき、あなたには何が出来る？」～災害ボランティアセンターの役割と仕組みから考える～というテーマで市町村が被災し災害ボランティアセンターを設置するという想定のもと、実際の立ち上げから運営まで必要な視点や役割分担等をシミュレーションを通して総合的に学んだ。

7. 東大阪市ファミリー・サポート・センター事業の推進

ファミリー・サポート・センター事業は、育児の援助をしたい方（援助会員）と育児の援助を受けたい方（依頼会員）が相互援助を行う会員組織で、東大阪市から委託を受け5年が過ぎた。

19年度は会員養成講座を6回、子育て講演会として、8月に堺市で小学校の先生をされている葛目己恵子氏を招き「悪い子なんておれへん ～子どものする事には理由がある～」というテーマで、また1月には東大阪発達障害支援の会代表の松尾めぐみさんを講師に招き「自閉症ってなんだろう～障害の理解と対応の仕方について～」の計2回と会員を対象とした「親子クッキング」を2回開講し、子育ての中で生かしていけるテーマに取り組んだ。今年度末の登録会員数は529名となり、2,549件の援助活動があった。

今年度の傾向としては、未就学児の援助はもとより、第2・3子出産後の上の子どもの幼稚園・保育所(園)への一定期間の送迎といった内容とともに、学童保育から洩れた児童の援助や17時までの学童保育への毎日の迎えやその後の習い事への送りといった依頼件数が増加した。援助会員の登録者数が伸び悩んでいる現在、教育委員会の学童保育の取り組みについて、当センターへ苦情や相談が増えており、行政施策としての学童保育事業の充実のため、市民からの声を情報提供していく必要性とともに、他部門との情報共有・連携が重要と実感している。

今後も複雑な依頼ケースに対応するためにも、援助会員等への研修会の充実に努めていく。

1) 会員養成講座の開催

開催日	時間	場所 / 講師名	参加者数
4月24日	13:00～16:30	総合福祉センター 鈴木 明代氏・千葉 郁子氏	3名
6月 8日	13:00～16:30	総合福祉センター 川井 ヨネ氏・千葉 郁子氏	5名
9月13日	13:00～16:30	楠根リージョンセンター 鈴木 明代氏・千葉 郁子氏	2名
10月22日	13:00～16:30	総合福祉センター 川井 ヨネ氏・千葉 郁子氏	9名
1月24日	13:00～16:30	総合福祉センター 鈴木 明代氏・千葉 郁子氏	4名
3月 1日	9:00～12:30	総合福祉センター 川井 ヨネ氏・千葉 郁子氏	6名

2) 会員登録状況

(H20年3月31日現在)

援助会員	依頼会員	両方会員	合計
158	320	51	529

3) 子育て講座の開催

開催日	時間	場所 / 講師名	参加者数
7月29日	13:00～16:30	くすのきプラザ 調理室 「親子クッキング～ピザ～」	9組 (25名)
8月 5日	10:00～正午	市民会館第3集会室 「悪い子なんておれへん」 葛目己恵子氏 ～子どものすることには理由がある～	30名
12月 4日	10:00～正午	総合福祉センター 4F会議室 「自閉症ってなんだろう」 東大阪発達障害支援の会 ピュア	26名 (一時保育)
2月17日	13:00～16:30	くすのきプラザ 調理室 「親子クッキング～お芋を使って～」	10組 (29名)

4) 援助活動状況

(H19年4月～H20年3月)

活 動 内 容	回 数
保育所・幼稚園の送り	179
保育所・幼稚園の迎え	564
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	148
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	511
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	7
学童のお迎え	257
学童の放課後の預かり	2
学童保育開始までのお預かり	0
学童の登校前の預かり及び送り	77
学童保育のお迎えと自宅までの送り	116
学童保育のお迎え及び帰宅後の預かり	241
子供の習い事の時の援助	287
子供の病後時の援助	3
保育所・学校等休み時の援助	19
出産に伴う子どもの預かり	10
保育所等施設入所前の援助	2
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	60
保護者等の求職活動中の援助	4
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	11
保護者等の買物等外出の場合の援助	18
保護者等の病気、急用等の場合の援助	32
保護者の講習会などへの参加時の援助	1
合 計	2,549

5) 依頼児童(乳幼児含む)年齢別集計

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	合計
件数	41	268	208	340	279	295	184	450	351	73	54	6	2,549

6) 研修会・交流会への参加

①平成19年度ファミリー・サポート・センター全国交流集会

日 時：9月18日(火) 13:00～17:30

場 所：三井アーバンホテル大阪ベイトワー

内 容：4センターの事例報告を含むパネルディスカッション

コーディネーター：青山学院大学文学部教授 庄司 順一 氏

パネラー：大津市ファミリー・サポート・センター

すいたファミリー・サポート・センター

いせファミリー・サポート・センター

加古川市ファミリー・サポート・センター

②平成19年度緊急サポートネットワーク事業研修会・情報交換会

日 時：3月19日(水) 13:30～16:00

場 所：大阪社会福祉指導センター 4階研修室(2)

内 容：「緊急サポートネットワーク事業の取り組み状況の報告」

講師：柏原市社会福祉協議会 かしはら緊急サポートネットワーク

前川 阿紀子 氏

「ファミリーサポートセンターと

緊急サポートネットワーク事業の役割分担を探る」

講師：特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロ

代表理事 小俣 みどり 氏

質疑応答・情報交換会

8. いきいきネット相談支援センター事業の推進（CSW配置事業）

いきいきネット相談支援センターにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が配置され、はや、3年が経過し、今年度においては市民が身近なところで相談ができるよう、すべてのリージョンセンター（市民プラザ）でCSWによる「福祉の出張相談コーナー」の開設に取り組むことができた。

また、大阪府の各市町村の行政関係者、CSW、社協職員など150名が参加したコミュニティソーシャルワーク・フォーラムでは東大阪市のCSW配置促進事業の活動報告をパワーポイントを活用しながら、わかりやすく報告した。

2月には、F（布施駅前）リージョンセンターで、企画運営委員会の協力のもと、CSWのメンバーが手づくりでCSWの役割、相談をコント形式で紹介した。そしてスーパーバイザーでもある大阪教育大学の新崎先生による講演で、地域での問題は、地域の方々とCSWも一緒になって考え、取り組んで解決に向けて協力していくことを再確認した。

さらに、CSWの連携強化やスキルアップを図るために、事例検討会、他市CSWとの交流、情報交換を推進し、この事業のスーパーバイザーの指導助言のもと、地域の福祉力を高めることに努めるとともにセーフティネットの構築を強化した。

主な内容については以下のとおり

- 1) いきいきネット相談支援センターCSW（コミュニティソーシャルワーカー）活動報告書の作成
- 2) 相談業務の資料の収集、作成と提供
- 3) 各関係機関との連携
 - ・校区福祉委員会連絡会
 - ・民生委員児童委員協議会連合会
 - ・社会貢献支援員
 - ・福祉事務所、保健センター等
- 4) 広報啓発
 - ・機関紙「社協ひがしおおさか」4/15日号に掲載
 - ・機関紙「社協ひがしおおさか」10/1日号に掲載
 - ・各リージョンセンターでの「福祉の出張相談コーナー」のチラシ作成
- 5) 社協内CSW担当者会議の開催（場所：高齢者サービスセンター等、開催回数：11回）
 - ・CSW連絡会議の案件整理、情報収集・提供、連絡調整等
- 6) 東大阪市CSW（コミュニティソーシャルワーカー）連絡会の開催
 情報交換と連携を密にするため、連絡会を毎月開催し、相談事例報告などを行った。
 また、昨年度より大阪教育大学の新崎准教授を助言者として招き、具体的な相談援助の方法や関係機関の連携について学んだ。
 ※開催日……毎月第2火曜日
 ※開催場所……東大阪市役所 会議室
 ※出席者……市健康福祉局福祉部健康福祉企画課、社協事務局、11カ所のCSW

回数	開催日	内 容
1	4月10日（火）	・人事異動に伴うCSW担当者変更による紹介 ・平成18年度CSW活動報告書作成について ・各リージョンセンターでの出張相談コーナーについて
2	5月8日（水）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・平成18年度CSW活動報告書について
3	6月12日（火）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・平成18年度CSW活動報告書の反響について
4	7月10日（火）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・各リージョンセンター出張相談コーナーの日程について ・リージョンA、E地域のCSW配置予定について
5	9月11日（火）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・災害時における要援護者の登録制度について ・大阪府CSWフォーラムの打ち合わせの報告について

6	10月9日（火）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・大阪府CSWフォーラムについての確認 ・平成20年度CSW配置施設について ・各リージョンセンター出張相談コーナーの状況について
7	11月13日（火）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・大阪府CSWフォーラムについての報告について ・平成20年度CSW配置施設について ・各リージョンセンター出張相談コーナーの状況について
8	12月11日（火）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・各リージョンセンター出張相談コーナーの状況について ・平成19年度活動報告書について ・東大阪市いきがい・健康づくり推進事業について
9	1月17日（木）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・各リージョンセンター出張相談コーナーの状況について ・東大阪市いきがい・健康づくり推進事業について ・平成19年度CSW活動報告書の進捗状況について
10	2月12日（火）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・東大阪市いきがい・健康づくり推進事業について ・平成19年度CSW活動報告書の進捗状況について
11	3月11日（火）	・各いきいきネット相談支援センターの動きについて ・各リージョンセンター出張相談コーナーの状況について ・平成19年度CSW活動報告書の進捗状況について

- 7) CSW連携会の開催（計9回）
CSW間の連絡調整及び他市への情報交換・交流会の日程調整等
6月4日、7月9日、9月10日、10月5日、11月8日、12月6日
1月11日、2月6日、3月6日

- 8) 東大阪市いきがい・健康づくり推進事業への参加、協力
みんなが主役！地域の福祉力を高めよう！～地域福祉における住民活動の意義～
日 時：平成20年2月10日（日）14：00～15：30
場 所：布施駅前リージョンセンター 夢ひろば 多目的ホール
内 容：①CSWの役割、相談等のコントで紹介。
②大阪教育大学 准教授 新崎国広氏による講演
参加人数：約130名

- 9) 主な各種研修会への参加
・東大阪市高齢者地域ケア会議への参加（参加回数：9回）
・その他の研修会参加については以下のとおり

日 時	研 修 会 名	場 所
8月29日（水）	社協におけるCSW活動の位置と課題	大阪府社会福祉会館
10月26日（金）	コミュニティソーシャルワーク・フォーラム	武藤記念ホール
12月10日（月）	大阪府CSW研修	大阪社会福祉指導センター
2月11日（金）	本人の意思を尊重した支援体制の構築	大阪府社会福祉会館
3月21日（金）	こころの病をもつ方への支援	男女共同参画センター
3月25日（火）	第2回CSW連絡協議会	大阪赤十字会館
3月25日（火）	大阪府地域福祉フォーラム	大阪赤十字会館

10) CSW配置事業の情報交換

日 時	内 容
8月28日（火）	社会貢献支援員との情報交換
9月10日（月）	枚方市CSWとの情報交換
11月13日（火）	阪南市CSWとの情報交換
12月11日（火）	東大阪市社協・市民福祉活動センター担当職員との情報交換
3月17日（月）	新潟県「知の財産」活用事業における先進地調査による情報交換

1 1) 担当中学校区の主な動き

縄手北中学校区いきいきネット相談支援センター ……五条老人センターに設置

相談件数：延べ相談回数417回（高齢者35件、障害者4件、その他3件）

○主な相談事例

- ・知的障がい疑いがある方のゴミ屋敷への支援
- ・精神障害者と認知症高齢者世帯への生活支援
- ・精神障害者への緊急対応
- ・ひとり暮らし認知症高齢者への医療面と生活面の支援

○担当中学校区と隣接中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・校区民生委員児童委員会（縄手北、縄手東、枚岡東、枚岡西）
- ・高齢者地域ケア会議
- ・縄手北校区福祉委員会主催の防災訓練
- ・日下、四条リージョンセンター企画運営委員会
- ・地元の病院、施設、事業所
- ・福祉事務所、保健センター等

○その他

- ・縄手北地域教育協議会主催の縄北ふれあいフェスタにて「福祉の相談コーナー」を開設
- ・クラブ活動発表会で、いきいきネット相談支援センター「福祉なんでも相談コーナー」を開設
- ・リージョンセンターでの「福祉の出張相談コーナー」の開設
- ・地域包括支援センターと連携した相談活動
- ・他のCSW配置施設との情報交換や情報提供、相談のつなぎ等

盾津中学校区いきいきネット相談支援センター ……高齢者サービスセンターに設置

相談件数：延べ相談回数266回（高齢者27件、障害者6件、その他11件）

○主な相談事例

- ・高齢者夫婦の介護保険利用者負担金の「高額介護サービス費」の申請
- ・精神障害者への生活保護申請のつなぎ
- ・離職者及び生活困窮者へのサポート（社会貢献支援員との連携、協力）

○担当中学校区と隣接中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・校区民生委員児童委員会（孔舎衛、孔舎衛東、鴻池東、成和、英田北）
- ・高齢者地域ケア会議
- ・弥栄校区福祉委員会「総会」
- ・鴻池東校区子育てサロン「ゲンキッズ」
- ・日下、中鴻池、楠根リージョンセンター企画運営委員会
- ・福祉事務所、保健センター等

○その他

- ・弥生祭において、いきいきネット相談支援センター「福祉なんでも相談コーナー」を開設
- ・リージョンセンターでの「福祉の出張相談コーナー」の開設
- ・地域包括支援センターと連携した相談活動
- ・他のCSW配置施設との情報交換や情報提供、相談のつなぎ等

新喜多中学校区いきいきネット相談支援センター ……高井田老人センターに設置

相談件数：延べ相談回数364回（高齢者61件、障害者13件、その他10件）

○主な相談事例

- ・ひとり暮らし精神障害者で仕事がなく生活が困難、各関係機関につなぎ、支援
- ・ひとり暮らし高齢者で介護保険制度へのつなぎ
- ・離婚をして子どもを抱え今後の生活に悩む母からの相談
- ・認知症の夫または妻を介護して今後の生活についての相談

○担当中学校区と隣接中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・校区民生委員児童委員会（高井田東、楠根南、意岐部、長堂、高井田西、森河内、荒川、永和、上小阪）
- ・校区福祉委員会（高井田東、高井田西）
- ・敬老大会（高井田東、長堂、高井田西）
- ・タウンミーティング（八戸ノ里校区）
- ・高齢者地域ケア会議
- ・布施駅前、楠根リージョンセンター企画運営委員会
- ・保育園、居宅介護事業所
- ・福祉事務所、保健センター等

○その他

- ・クラブ活動発表会に「福祉のなんでも相談コーナー」を開設
- ・リージョンセンターでの「福祉の出張相談コーナー」の開設
- ・地域包括支援センターと連携した相談活動
- ・他のCSW配置施設との情報交換や情報提供、相談のつなぎ等

IV. 市民の理解と参加による社会福祉協議会の基盤強化の推進 (市民に見える社協づくり)

1. 社協事業への市民の理解と協力の促進

- 1) 機関紙「社協ひがしおおさか」(ボランティア情報、善銀ニュース)等の編集発行
社協機関紙「社協ひがしおおさか」を年2回編集発行(部数:210,000部)し、市内全戸配布して、社協事業の啓発活動を行った。なお、発行に際して福祉関連の広告掲載を行い掲載料を費用にあてた。また、介護者家族の会の機関紙「昴(すばる)」などを活用して、関連事業や福祉情報の紹介を行った。

NO	発行日	主 内 容
87号	10/1 (全戸配布)	平成19年度赤い羽根共同募金紹介/歳末たすけあい配分申請について/日赤募金、災害救援金協力お礼/ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいの案内/社協事業報告・決算報告/組織構成会委員・賛助会員募集/認知症高齢者相談窓口のしおり/高齢者地域ケア会議報告/ファミサポだより/特集・高齢者、児童虐待防止/東大阪ふれあい広場ご案内/預託だより(善意銀行・V基金)/ボランティアグループ紹介/市民福祉活動センター情報誌/テレホンガイドお知らせ/協賛広告
88号	4/15 (全戸配布)	平成20年度社協事業計画/赤十字運動月間のお知らせ/組織構成会委員・賛助会員募集/平成19年度赤い羽根共同募金実績報告/赤い羽根共同募金配分申請の案内/歳末たすけあい募金の報告/交通遺児福祉資金の給付CSW配置施設の紹介/ファミサポだより/ボランティア保険更新の案内/特集・災害特集/高齢者地域ケア会議報告/ボランティアグループ紹介/ボランティア基金/預託だより(善意銀行・V基金)/東大阪市社会福祉大会の報告/あいあいサロンご案内/テレホンガイドお知らせ/協賛広告

2. インターネットホームページ「はーとねっと」による情報の発信

情報公開・情報提供の手段として活用している当協議会のホームページ「はーとねっと」で情報提供を行い市民の理解と協力・参加を得た。

3. パンフレット等の編集発行及び配布

- 1) 平成18年度事業、歳入歳出決算報告書
- 2) 平成19年度事業計画及び一般会計予算書
- 3) 「あんしんカード」の編集発行
- 4) ①「ボランティア活動に関するアンケート」の編集発行
②「ボランティアグループ・NPOの組織・活動に関するアンケート」の編集発行

4. 社協組織の充実

- 1) 理事会・評議員会の開催(前掲)
- 2) 各委員会の開催(前掲)

5. 事務局体制の充実

- 1) 関係職員連絡会議及びプロジェクトチームによる情報交換、事業の検討及び連携
・施策調整会議(毎月)、・所属連絡会議(毎月)、社協3老人センター連絡会議

高齢者サービスセンター事業検討職員プロジェクトチーム会議

日 時	案 件
6/19、7/4	・高齢者サービスセンター事業について
7/18、8/7	・センターのあり方について
8/22、9/12	(今日的課題、センター機能の復活と実施事業の変更、人材育成と情報提供)
7/10	伊賀市社協・地域福祉後見サポートセンター事業の視察見学

広報事業職員プロジェクトチーム会議

日 時	案 件
7/11、7/31	・平成19年度「社協ひがしおおさか」発行スケジュール・編集方針確認 ・「社協ひがしおおさか第87号」(10月1日号発行予定)の内容等について ・発行に伴う原稿の持ち寄り、紙面への割り振り
1/11、1/28 2/26、3/7	・「社協ひがしおおさか第88号」(4月15日号)の発行に伴う原稿の持ち寄り ・発行に伴う原稿の持ち寄り、紙面への割り振り

2) 職員人権研修会の実施

日 時	案 件
12/6	「落語から学ぶ人情の大切さ」～言葉の重み～ 於：イコーラム
3/6、13	「定住外国人の人権」 「バリアフリー社会をめざして」 於：市民会館

3) 大阪府社協主催研修会及び会議等への参加

①大阪府市町村社協会長会・事務局長会議及び大阪府下社協担当職員会議

会 議 名	日 時	場 所
市町村社協事務局長会議	4/19、5/17、7/19、9/20、 11/15、2/7、3/14	大阪社会福祉指導センター
要保護世帯向け長期生活支援資金 貸付事業連絡協議会	4/27、5/29、10/31	大阪社会福祉指導センター
人権協活動推進協議会事務局会議	5/7、11/12	大阪社会福祉指導センター
市町村社協会長会議	6/14、9/6、11/1、2/7、3/7	大阪社会福祉指導センター
ボランティアセンター担当者会議	6/18、10/5、12/14、3/21	大阪社会福祉指導センター
河南ブロック社協連絡会会長事務局長会	6/25	千早赤阪村村立保健センター
地域組織担当者会議	7/12、11/9、3/5	大阪社会福祉指導センター
市町村社協・府予算対策委員会	7/12、18	大阪社会福祉指導センター
福祉と共生のまちづくり推進会議	7/23、11/1、11/30、2/7	大阪社会福祉指導センター
地域福祉推進のための協働会議	7/23、11/30	大阪社会福祉指導センター
課題別検討委員会（共同募金）	8/2、10/19、1/17	大阪府社会福祉会館
CSW担当者会議	8/29、2/15	大阪社会福祉指導センター
職員連協40周年記念事業企画会議	9/3	大阪社会福祉指導センター
地域福祉専門研修委員会	9/3、2/4	大阪社会福祉指導センター
研修推進担当職員会議	9/11	大阪府社会福祉会館
課題別検討委員会（地域貢献）	9/28、10/22、12/6、1/30 3/11	大阪社会福祉指導センター
職員共済会理事会	11/15、2/26	大阪社会福祉指導センター
大阪府福祉基金運営委員会	11/20、2/4	大阪府庁
職員連協40周年記念のつどい	11/28	大阪社会福祉指導センター
職員連協幹事会	2/6	大阪社会福祉指導センター
府社協・研修運営委員会	3/5	大阪府庁

②参加研修会

研 修 会 名	日 時	場 所
市町村社協経営改革研究会	7/25、8/27、9/26、 11/19、12/18、2/14	大阪社会福祉指導センター 大阪府社会福祉会館
ボランティアコーディネーター研修会	8/6、2/18	大阪社会福祉指導センター
全国校区地域福祉活動サミットIn豊中	10/6	豊中市立市民会館
災害ボランティアセンター・コーディネーター研修会	11/5～7	大阪社会福祉指導センター
府社会福祉施設人権活動推進協議会 研修会	12/5	大阪社会福祉指導センター
地域福祉課題セミナー	12/10	大阪社会福祉指導センター
職員連協フォーラム	1/22	薬業年金会館
全社協・市町村社協管理職員研修会	1/22～24（3日間）	ロフォス湘南
小地域ネットワーク活動リーダー研修会	1/24	大阪国際交流センター
職員連協管外研修会	2/29	宍粟市社会福祉協議会
苦情解決 第三者委員研修会	2/19	大阪府社会福祉会館
公正採用選考人権啓発推進員研修会	2/28	アウィーナ大阪
「福祉と共生のまちづくり」フォーラム	3/6	大阪歴史博物館
災害ボランティア研修会	3/26	大阪社会福祉指導センター

③日常生活自立支援事業関係

研 修 会 ・ 会 議 ・ 説 明 会 等	日 時	場 所
専門員新任者研修会	6/15	大阪社会福祉指導センター
専門員担当者会議	7/13、9/19、12/10	大阪社会福祉指導センター
市町村・保健所等職員研修（高次機能障害）	11/17	クレオ大阪東
成年後見審判申立審査会（市長申立）	12/12	東大阪市総合庁舎
知的障害者福祉関係職員専門研修（第3回）	1/22	大阪府急性期総合医療センター
小阪病院デイケアプログラム 事業説明会	2/20	小阪病院デイケア
いきいきネット相談支援センター実習生受入	2/20	日常生活自立支援センター

平成19年度 会 務 報 告

年月	事業名	備考	年月	事業名	備考	
4	市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	4/19	10	市民活動支援センター 検討委員会	10/18	
	共同募金 事務担当者会議	4/23		東大阪ふれあい広場 (総合福祉センター)	10/21	
5	東大阪市民 ふれあい祭り	5/13	11	市民 健康祭り	10/28	
	市民活動支援センター設立準備会 (世話人会 作業部会)	5/14 5/24		市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	11/8	
	社協会計監査 (商工会議所)	5/14		大阪府社会福祉大会	11/21	
	市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	5/31		市民活動支援センター検討委員会	11/21	
6	市民活動支援センター設立準備会 (世話人会 作業部会)	6/11 6/18	12	職員連協40周年記念のつどい (大阪社会福祉指導センター)	11/28	
	共同募金会 推進部会	6/26		市民活動支援センター検討委員会	12/13	
	市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	6/26		1	東大阪市外郭団体連絡協議会	1/8
	市民活動支援センター検討委員会	6/29		外郭団体あり方検討委員会	1/11	
7	まちづくり推進協議会 (本庁)	7/4	1	「東大阪市市民活動センター設置 に向けての提言書」市長へ提出	1/18	
	市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	7/12		市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	1/24	
8	市民活動支援センター設立準備会議 (まちづくり支援課)	8/1	2	東大阪市外郭団体連絡協議会	2/20	
	共同募金 事務担当者会議	8/3		関西電力カーベス懇談会 研修会 (泉南郡熊取町)	2/22	
	市民活動支援センター検討委員会	8/6		まちづくりフェスタ (布施駅前・ゾロウセンター)	2/23	
	市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	8/20		福祉施設連絡会苦情解決研修会	2/25	
9	市民活動支援センター検討委員会	9/4	3	まちづくり推進協議会 (本庁)	2/27	
	市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	9/11		第20回東大阪市社会福祉大会	2/29	
	まちづくり推進協議会 (本庁)	9/5		共同募金会 事務局長会(葉野年金館)	3/3	
	敬老事業 開催 (13校区)	9/9~		市民活動支援センター設立準備会議 (まちづくり支援課)	3/6	
10	共同募金運動 街頭募金	10/1	3	職員人権研修会(人権市民講座)	3/6 3/13	
	市民活動支援センター 設立準備会 世話人会	10/4		防火避難訓練 (総合福祉センター)	3/14	
	自立支援協議会 運営委員会 (本庁)	10/5		講演と映画のつどい (布施駅前)	3/15	
	「サトウハチロー」 映画「筆子その愛」	10/13		東大阪ふれあいのつどい	3/27	

V 高齢者サービスセンター利用状況

平成19年度に当センターを訪れた市民及び利用した高齢者の総数は56,106人で、この1年間に新規の利用券を発行した者は223人である。(利用券発行累計4,764枚)利用者数を月平均すると4,676人で、1日平均は191人である。

(用途・月別利用者数)

(単位：人)

	ふれあいサービス			因 訳 (再 掲)							事業別利用者数										相 談 件 数	総 合 計
	利用 者 数			入 浴 者			生 ぎ	リハ	クワ	開 放	新 規	研	実	会	回	老	見	テ	小			
	男	女	小計	男	女	小計	が い	ビ リ	活 動	事 業	利 用	修	習	議	体	大	学	イ	計			
4月	2206	1786	3992	206	171	377	28	46	583	383	11	0	0	70	192	0	0	272	534	13	4539	
5月	2108	1704	3812	199	164	363	23	70	483	347	7	0	0	62	241	0	0	298	601	18	4431	
6月	2508	2232	4740	223	197	420	84	66	587	452	39	0	0	44	199	167	0	280	690	19	5449	
7月	2454	2084	4538	193	149	342	73	80	548	405	19	0	9	72	235	170	1	261	748	10	5296	
8月	2362	1424	3786	223	176	399	38	50	148	427	12	0	14	94	153	67	0	278	606	35	4427	
9月	2212	1952	4164	153	139	292	32	74	528	361	23	0	0	137	380	128	0	241	886	11	5061	
10月	2326	1964	4290	210	165	375	98	79	551	372	22	21	0	61	198	156	0	324	760	42	5092	
11月	2276	1880	4156	216	165	381	71	75	535	354	9	0	8	47	180	200	0	312	747	32	4935	
12月	1796	1382	3178	191	138	329	148	51	331	291	17	0	0	65	163	0	0	299	527	17	3722	
1月	1802	1420	3222	195	149	344	52	75	327	307	40	36	24	95	164	0	0	282	601	16	3839	
2月	2198	2112	4310	230	163	393	80	75	533	393	17	40	36	93	205	0	0	285	659	26	4995	
3月	1880	1796	3676	244	192	436	63	55	526	344	7	30	16	112	160	0	0	288	606	38	4320	
累計	26128	21736	47864	2483	1968	4451	790	796	5480	4436	223	127	107	952	2470	888	1	3420	7965	277	56106	
平均	2177	1811	3989	207	164	371	66	66	457	370	19	11	9	79	206	74	0.1	285	664	23	4676	

1. 老人センター事業

1. 情報提供

情報サービス・啓発事業

①情報の提供

市民や利用者にセンター事業や高齢者福祉等に関する情報を提供するために、市政だよりや社協機関紙等を活用するとともに、機関紙「高齢者サービスセンター」を月刊で発行した。また、関係機関等チラシやポスター等の資料を取り寄せ、それらの配布や掲示を行うなど、関係情報の提供を行った。

②場所の提供

団体数は20グループで、主に老人大学講座「悠友塾」の卒業生で構成されているボランティアグループの他、近隣の校区福祉委員会等へ活動の場を提供し延べ2,470人が利用した。

2. 教育・研修

1) 生涯教育事業

①老人大学講座「悠友塾」

高齢者の方々に健康で、より豊かな生きがいのある生活を送っていただけるよう、「楽しく集い・学び・語らい・行動する」という機会と場を提供することを目的に開講した。

実施期間 平成19年6月5日～12月4日(全132時間)

修了者数 36人(福祉：8人・歴史：28人)

専任講師 歴史：元大手前大学 人文科学科 教授 藤井直正氏
福祉：大阪人間科学大学 人間科学部 講師 上ノ園 誠仁氏

内 容 「専門コース」

楽しく郷土の歴史を学ぶコース 毎週火曜日 午前10時～正午

楽しく社会福祉を学ぶコース 毎週火曜日 午前10時～正午

「一般教養科目」 毎週火曜日 午後1時～午後3時

(※ 一部、火・木 週2回の場合有)

②悠友塾OB連絡会への協力

連絡会 毎月第1水曜日

内 容 活動に対する相談援助及び各機関の連絡調整

③高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、生きがいづくりや人と人との交流に重点をおいた生きがい教室を実施し、利用者のニーズにあったクラブ運営を行った。

クラブ名	講師名	会員数 (人)	実施日			実施回数	延べ(人) 出席者数	
			週	曜日	時間			
講師付きクラブ	茶道	小寺宗豊	16	第2・4	水	13:30-15:30	21	306
	華道	小西國甫	14	第1・3	月	13:30-15:30	19	231
	詩吟	大塚國行	21	第1・3	火	13:30-15:30	20	353
	陶芸	山田ウタ子	(一)12	第1・3	木	10:00-12:00	18	191
			(二)12			13:30-15:30	21	211
	編物手芸	山野弘子	18	第2・4	水	13:30-15:30	19	190
	社交ダンス	吉田 吏	(男)14	第1・3	木	13:30-15:30	17	359
			(女)20			13:30-15:30		
	書道	永田桂華	(一)30	第2・4	火	10:00-12:00	20	461
			(二)30			13:30-15:30	20	495
	民謡	川口名津珠和	17	第1・3	金	13:30-15:30	18	192
	民謡踊り	藤扇栄祥	8	第1・3	金	13:30-15:30	23	143
はり絵	堀田三和子	15	第2・4	金	13:30-15:30	19	232	
図画	山口礼郎	19	第1・3	水	13:30-15:30	17	228	
自由クラブ	カラオケ	(一)20	第1・3	水	13:00-16:00	22	289	
		(二)21			木	13:00-16:00	23	213
		(三)22			月	13:00-16:00	21	204
	謡曲	—	11	第1・3	火	10:00-12:00	18	141
	テソク	—	20	第2・4	水	10:00-12:00	20	313
卓球	—	(一)20	第2・4	土	10:00-12:00	22	363	
		(二)20			木	13:30-15:30	24	365
計		380				402	5,480	

④卓球・カラオケ・ダンスによる健康促進事業

クラブ活動以外に利用者の健康増進の為、週4回、卓球、カラオケ、ダンスを開放し、延べ4,436人が利用し、相互の交流と自身の生きがいづくりや健康の増進におおいに役立った。

⑤その他の教室・講座・交流事業

日	事業名	内 容	参加者数
4月24日	フラダンス披露会	フラダンスを披露し、利用者と共に楽しむ。	28人
5月31日	三老人センター交流事業 陶芸教室	三老人センター利用者が陶芸をしながら交流する。	8人
6月 5日 12日 19日	歌体操教室	歌や音楽に合わせて体操をする。	55人
26日	健康フラダンス教室	フラダンスの指導を受ける。	10人
28日	ふれあい料理教室	夏に向けてスタミナ料理をつくる。	19人

7月13日	傘のリサイクル教室	傘布でショッピングバッグをつくる。	14人
28日	三老人センター 囲碁・将棋交流会	囲碁・将棋を通じて他老人センター 利用者と親睦・交流を深める。	23人
30日	ボランティア手芸教室	ボランティアグループの指導による コケ玉の置物をつくる。	20人
31日	健康フラダンス教室	フラダンスの指導を受ける。	9人
8月10日	ビデオ上映会	フラガール／阿弥陀堂だより	27人
9月26日	体験料理教室	ボランティアグループの指導による 料理教室	15人
10月22日	ボランティア手芸教室	ボランティアグループの指導による 造花のアレンジをつくる。	13人
26日	ふれあいバスツアー	京都にて扇子作り体験などを通じ 利用者相互の交流を深める。	45人
31日	体験料理教室	ボランティアグループの指導による 料理教室。	15人
11月 5日	世代間交流 (ふれあいおもちゃ作り)	おもちゃ作りを通して、当センター 利用者と弥栄小学校児童とのふれあ い、交流を持つ。	92人
11月22日	老人大学講座 悠友塾公開講座	公開講座 「明治時代：苗字騒動のお話」 帝塚山大学 法政策学部 名誉教授 井戸田 博史氏	48人
28日	体験料理教室	ボランティアグループの指導による 料理教室	16人
29日	三老人センター バンパー交流会	バンパーを通じて他老人センター 利用者と親睦・交流を深める。	6人
12月 7日	みんなの体操ひろば 特別講座	転倒予防の基礎知識と実技の指導 日本介護予防指導者協会 事務局長 重信 直人氏	24人
10日	ビデオ上映会	武士の一分／大奥	89人
19日	体験料理教室	ボランティアグループの指導による 料理教室	16人
2月15日	ボランティア手芸教室	ボランティアグループの指導による パッチワークづくり	13人
3月 7日 8日	高齢者サービスセンター 弥生祭	地域交流や世代間交流 クラブ活動発表会等	2,379人

2) ボランティア養成事業

- ・ボランティアグループ「はだしの会」によるひとり暮らし高齢者世帯への福祉電話訪問
中地区2, 783件(平成19年4月から平成20年3月末まで)
- ・当センター利用者によるボランティアグループ「明日葉：手芸教室」「ハッピー Spoon：
料理教室」を起ち上げ、各教室を実施。
- ・転倒予防体操の普及等介護予防活動を推進するボランティアグループ「のぞみ」の結成と活動
の支援
- ・第2回 介護予防活動ボランティア養成講座の開催
老人センターを拠点として介護予防活動を推進する為、介護予防活動ボランティアとなる
人材を育成した。
内 容：転倒予防トレーニングを中心とした講義と実技
指 導：日本介護予防指導者協会 三宅 基子氏
平成20年1月21日(月)～3月17日(月) 午後2時～3時30分
毎週月曜日 計8回 延べ116人参加 修了者 : 15人

3. 介護予防事業

高齢者の介護予防を目的に各種教室を実施。日常生活動作指導などを含め、利用者が気軽に
参加できる「健康体操教室」「手作り作品教室」「トレーニング教室」を開催した。
また、介護予防活動ボランティア養成講座、第1期修了生の協力による「みんなの体操ひろ
ば」を開催した。

1) 各種教室

事業名	実施日	時間	内容	延べ参加人数
健康体操教室	毎月第2木曜日 毎月第4水曜日	13:30 ～ 15:00	椅子座位でのストレッチ体操で、肩こりや腰痛の予防をする。	509人
出前健康体操教室 五条老人センター 高井田老人センター	6/15, 7/20, 8/17, 2/21 6/21, 7/19, 8/16	10:00 ～ 11:30	//	118人 95人
手作り作品教室	2カ月に一回 不定期実施	13:30 ～ 15:30	手作りの作品を制作することにより、他者との交流や楽しみを自ら見出す。	148人
トレーニング教室	毎月第2水曜日	13:30 ～ 15:00	簡単な器具などを使用した筋力トレーニングの指導を実施する。	135人
みんなの体操ひろば	月一回 不定期実施	13:30 ～ 14:30	介護予防活動ボランティアによる体操の指導	150人
計				1,155人

2) 訪問リハビリ指導

実施回数 1回 1人
 実施内容 ヘルパー・ケアマネージャーへの助言指導
 家族への介助指導及び簡単な訓練指導
 生活リハビリ訓練指導（ADL訓練指導）

4. 健康生活維持並びに向上のためのサービス事業

健康入浴 毎週 月、水、金 午後1時～3時 延べ4, 451人
 いきいき健康相談 毎月1回 第3水曜日 延べ 10人
 車いす貸し出し事業 19回

5. 実習生の受け入れ 小阪病院看護専門学校 1/15～3/13までの間 18人

6. 盾津中学校区いきいきネット相談支援センター事業（CSW配置事業） 詳細は別記

2. (五条老人センター)

指定管理者施設として2年目を迎えた本年は、地域に根ざした老人センターとして高齢者が安心して生活を送ることができるように「救急救命AED講習」や「防犯講座」を実施した。

また、生きがいづくり推進事業等を展開するとともに介護予防のための健康づくり推進事業や、シルバーボランティアの育成に努めてきた。

平成19年度、当老人センターを利用した高齢者の総数は30,658人で、この1年間に新規の利用券を発行した人数は144人である。利用者数を月平均すると2,555人で、1日平均は106人である。

(年間利用者数及び入浴者数)

(単位：人)

利用者数			入浴者数 (毎月・水・金 午後1時～3時)		
男	女	計	男	女	計
17,548	13,110	30,658	3,230	2,323	5,553

1) 教養講座、レクリエーション事業

手作り作品づくりなどを通して、趣味の輪を広げることや各種レクリエーション事業で多くの時間を高齢者に楽しんでいただく事業を展開した。

①教養講座

開催日	事業名	内 容	参加人数
6/19	パソコン教室	暑中見舞いのはがき作成	9人
7/23	手作り作品教室	色紙でくす玉を作成	10人
11/29	版画教室	版画で年賀状を作成	8人
12/4	パソコン教室	年賀はがきの作成	13人
1/31	手作りクラフト教室	自然木を使ってブローチの作成	14人
3/13	折り紙教室	チューリップや蝶等を作成	12人
計			66人

②レクリエーション事業

開催日	事業名	内 容	参加人数
6/28	バンパー大会	トーナメント方式によるバンパー大会	24人
8/11	盆踊り大会	日舞・民謡踊りクラブ有志とセブチ利用者による盆踊り大会	94人
8/24	ビデオ上映会	上映作品「フラガール」	26人
9/10	敬老大会	クラブ有志による演芸披露、ボランティアグループ「カトリック」によるオカリナ演奏の披露	140人
12/13	囲碁大会	トーナメント方式による囲碁大会	16人
1/29	将棋大会	トーナメント方式による将棋大会	18人
計			318人

2) 高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、人と人のつながりに重点を置いた生きがい教室を実施した。

クラブ名	講師名	会員数 (人)	実 施 日			実 施 回 数	延べ(人) 出席者数
			週	曜日	時 間		
華 道	勝 山 満 甫	12	第1・3	月	13:00-15:00	17	186
俳 句	三 須 虹 秋	6	第 2	月	13:00-15:30	11	93
詩 吟	森 山 国 光	18	第1・3	火	13:30-15:30	20	239
水 墨 画	山 本 成 湖	29	第2・4	火	10:00-12:00	17	371
書 道	杉 山 滝 蔵	41	第2・4	火	13:00-15:00	19	526
絵 手 紙	木 村 初 子	36	第2・4	水	10:00-11:30	19	440
茶 道	檀 浦 宗 柳	16	第2・4	水	13:00-15:00	18	244
フラダンス	福 岡 鈴	18	第2・4	水	13:00-14:30	27	363
ダ ン ス	吉 田 真 一	31	第1・3	木	12:30-14:30	19	398
歌 体 操	平 河 美 津 子	40	第2・4	木	10:00-11:30	20	630
手 芸	谷 脇 睦 子	24	第2・4	木	13:00-15:00	19	366
民謡踊り	山 村 若 涼 紀	15	第1・3	金	12:00-14:00	18	180
日 舞	山 村 若 温 紀	11	第1・3	金	14:00-16:00	19	190
民 謡	植 元 和 市	38	第2・4	金	13:30-15:30	19	493
万葉集	風 間 愛 子	21	第 4	金	13:30-15:00	11	182
カラオケ	粟 登・柳 薫	94	第1・3	水	12:00-16:00	19	1,360
計		450				292	6,261

3) 地域交流事業

地域に根ざした老人センターとして、高齢者が安心していきいきとした生活を送ることができるよう地域へ積極的な参加を呼びかけ実施した。

開催日	事業名	内 容	参加人数
8/2	手作りおもちゃ教室	縄手東小学校&縄手東育成クラブとセンター利用者による世代間交流	33人
10/30	救急救命AED講習	「心肺蘇生法」と「AEDの使い方」や止血法等の応急手当に関する知識と技術を学ぶための講習 (講習指導:東消防署 救急救命隊)	31人
11/12・15・16	クラブ活動発表会	高齢者生きがい教室の発表会 (舞台発表・作品展示・茶席)	730人
11/30	オータムコンサート	縄手北中学校 生徒会&ブラスバンド部による演奏	100人
3/24	高齢者向け防犯講座	①この地域で多発している犯罪とその防犯について (枚岡警察署生活安全課) ②最近の悪質商法による高齢者の消費者被害事例とその防止について (消費生活センター) ③いきいきネット相談支援センター ミニティーツールワーカー (CSW) によるお話	41人
3/31	春の講座&ボランティア活動の紹介	①テーマ「歯の健康、お口の中の健康」 ②手 品:ボランティアグループ「うめざくの会」 笑い講:ボランティアサークル「老大東部フレンド」の紹介	45人
計			980人

4) 各種相談事業

日常生活の心配事や健康に関すること等の相談事業を実施

生活相談	0件	仕事相談	0件	健康相談	46件
------	----	------	----	------	-----

5) 介護予防、健康づくり推進事業

高齢者がいきいきと健康に暮らすための一助となることを目的とした、日常生活動作指導などの各種健康体操教室や、利用者が気軽に参加できる「みんなの体操ひろば」を、介護予防活動ボランティア養成講座、第1期修了生の協力により8月より月1回開催した。

①各種教室

事業名	実施日	時間	内 容	延べ参加人数
バランス健康体操教室	第1・3木曜日 5月~3月の 計15回	10:00 ~ 12:00	タオルなどを使い自宅でも手軽にできる体操	392人
健康体操教室	6/15、7/20 8/17、2/21 計4回	10:00 ~ 11:30	椅子座位でのストレッチ体操で、肩こりや腰痛の予防をする。(高齢者サービスセンター理学療法士による指導)	118人
初心者卓球教室 A	第2・4水曜日	10:00 ~ 12:00	卓球を通じて、健康づくりの推進	201人
初心者卓球教室 B	第2・4水曜日	13:00 ~ 15:00	卓球を通じて、健康づくりの推進	322人
健康のつどい	5/31、12/6 計2回	13:30 ~ 15:00	「命の貯蓄体操」(5/31) 「うた広場」(12/6)	63人
みんなの体操ひろば	第3月曜日	10:00 ~ 11:00	介護予防活動ボランティアによる「転倒予防体操」や、脳トレーニング体操等。	192人
みんなの体操ひろば 「特別講座」	12/12	10:00 ~ 11:30	転倒予防の基礎知識と実技の指導	32人
計				1,320人

②「そよかぜの会」による健康推進事業(東保健センターとの共催事業)を実施
概ね月1回 第4月曜日 午前10時~12時 計6回 延べ239人参加

6) シルバーボランティアセンター事業

- ①ボランティアグループ「はだしの会」によるひとり暮らし高齢者世帯へのふれあい福祉電話訪問
東地区 2,118件 (平成19年4月から平成20年3月末まで)
- ②転倒予防体操の普及等、介護予防活動を推進するボランティアグループ「こだま」の結成と活動の支援
 - ・介護予防活動ボランティア第1期生交流会の実施 計3回 延べ33人参加
・・・ボランティアグループ「こだま」結成
 - ・「みんなの体操ひろば」においての介護予防体操のスキルアップ実施(不定期)
計8回 延べ68人参加
- ③第2回 介護予防活動ボランティア養成講座の開催
老人センターを拠点として介護予防活動を推進する為、介護予防活動ボランティアとなる人材を育成した。
内 容：転倒予防トレーニングを中心とした講義と実技
指 導：日本介護予防指導者協会 三宅 基子 氏
平成20年1月21日(月)～3月17日(月) 午前10時～11時30分
毎週月曜日 計8回 延べ119人参加 修了者：16人
- ④当センターの庭園清掃への協力 年6回 参加者188人
- ⑤ボランティア活動の相談援助と紹介
 - ・通院介助ボランティアの紹介
 - ・ボランティアグループの活動紹介
ボランティアグループ「うめぎくの会」、ボランティアサークル「老大東部フレンド」

7) 社協内三老人センター連携による交流会

開催日	開催場所	事業名	内 容	参加者数
5/31	藤崎サビセンター	陶芸教室	三老人センター利用者が陶芸を通じて、親睦、交流を深める。	4人
7/28	藤崎サビセンター	囲碁・将棋交流会	三老人センター利用者が囲碁、将棋を通じて親睦、交流を深める。	19人
11/29	藤崎老人センター	バンパー大会	三老人センター利用者がバンパーを通じて親睦、交流を深める。	6人
計				29人

8) 実習生の受け入れ

- ・小阪病院看護専門学校 1月21日～3月13日 12名

9) 近隣中学校の「職場体験学習」等の受け入れ

- ・「職場体験学習」
平成19年5月29日(火)～31日(木) 縄手北中学校 2年生 4名
- ・「仕事の聞きとり学習」
平成20年2月20日(水) 縄手北中学校 1年生 7名

10) 縄手北中学校区いきいきネット相談支援センター事業(CSW配置事業)の推進 詳細は別記

3. (高井田老人センター)

1. 情報提供

1) 情報サービス・啓発事業

情報の提供

市民や利用者にセンター事業や高齢者福祉等に関する情報を提供するために、市政だよりや社協機関紙等を活用するとともに、機関紙「高井田老人センター」を月刊で発行した。

また、関係機関等チラシやポスター等の資料を取り寄せ、それらの配布や掲示を行うなど、関係情報の提供を行った。

2. 教育・研修

1) 生涯教育事業

①高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、生きがいづくりや人と人との交流に重点をおいた生きがい教室を実施し、利用者のニーズにあったクラブ運営を行った。

クラブ活動状況

クラブ名	講師名 代表者名	会員数 (人)	実施日			実施回数	延べ(人) 出席者数
			週	曜日	時間		
華道	祥鶴庵 松島 愛圃	15	第2・4	火	13:30-15:00	19	233
詩吟	植田 豊 鳩	19	第1・3	火	13:00-15:00	21	266
日本画	中村 信子	23	第1・3	火	13:00-15:00	17	236
茶道	辻元 宗久	18	第2・4	水	13:00-15:00	19	239
書道	今岡 節子	34	第2・4	木	13:00-15:00	17	260
手芸	坂口 富子	17	第2・4	木	13:00-15:00	18	166
新舞踊	山村 若温子	12	第1・3	金	13:00-15:00	19	159
民謡	梅若 朝由記	50	第2・4	金	13:00-15:00	17	648
歌体操	村田 光江	33	第1・3	水	10:00-11:30	50	1,278
歌体操	村田 光江	37	第1・3	金	10:00-11:30		
歌体操	村田 光江	39	第2・4	月	10:00-11:30		
アザールブドワカ	風間 愛子	10	第2	金	13:00-15:00	10	83
俳句	鈴木 火外	31	第2	月	13:00-16:00	11	201
謡曲	佐伯 ヒデ子	20	第2・4	火	12:00-16:00	21	353
カラオケ	末金 昭助	24	第1・3	水	12:00-16:00	20	253
ダンス	木野 一馬	25	第1・3	木	13:00-16:00	18	282
絵手紙	奥田 佐江子	35	第2・4	水	13:30-15:00	17	168
写真	川上 敬二	22	第1	水	13:30-15:00	11	82
大正琴	野村 睦子	16	第2・4	土	13:00-15:00	21	181
計		480				326	5,088

②教養講座、レクリエーション事業、交流事業

高齢者が豊かにいきいきと過ごせるように講座やレクリエーション事業を行った。

・教養講座

水墨画同好会 センター利用者による水墨画の作品（計21回）、参加者 延べ255人
4/11・25、5/9・23、6/13・27、7/11・25、8/8・22、9/12・26、
10/10・24、11/14・28、12/12、1/23、2/13、3/12・26

ポリマークレイ教室（計17回）、参加者 延べ134人

4/12・26、5/10・21、6/14・28、7/12、9/13・27、
10/11・25、11/8、12/13、1/10・24、2/14、3/13

・レクリエーション事業、交流事業

月	日	事業名	内容	参加者数
9	29	敬老大会	クラブ有志による演芸披露 マジックショー	126人
11	16 20 22	卓球大会 ラージボール大会 バンパー大会 (社協内センター間交流事業)	トーナメント方式による卓球大会 トーナメント方式によるラージボール大会 センター利用者によるバンパー交流会	24人 26人 6人
2	25・28 29	クラブ活動発表会	クラブ活動の日頃の成果を発表 (舞台発表・作品展示・茶席)	1,486人

2) ボランティア活動事業、シルバーボランティアセンター事業の推進(人材養成推進事業)
高齢者のボランティア活動の推進と拡充を図り、地域活動への参加を行った。

①ボランティアグループの他、近隣の老人クラブなど地域との交流を図り活動の場所を提供

若竹会	8回	160人	おりひめ会	9回	135人
SA生きがい教室	9回	176人	おりにふれて	22回	311人
SA東大阪	8回	126人	老人クラブ	3回	45人
ハートの会	18回	109人	その他7グループ	15回	130人
オカリナ・アンサンブル・カトリア	10回	166人			
計				102回	1,358人

②ボランティア講師による各種同好会などの実施

土筆会(書道サークル)	21回	557人
折紙同好会(折り紙)	12回	210人
フローラ(アートフラワー)	15回	107人
茶道講習会	7回	60人
計	55回	934人

③介護予防活動ボランティア養成講座

老人センターを拠点として介護予防活動を推進するため、介護予防活動リーダーとなる人材を育成した。

①みんなの体操ひろば特別講座「転倒予防の基礎知識と実技の指導」

平成19年11月30日(金)午後1時30分～3時

講師 日本介護予防指導者協会 重信 直人 氏

参加者 44人

②第2回介護予防活動ボランティア養成講座「転倒予防トレーニングを中心とした講義と実技」

平成20年1月26日(土)～3月15日(土)午前10時～11時30分

毎週土曜日 8回コース

講師 日本介護予防指導者協会 仲原 成岳 氏・浦川 哲也 氏

延べ 112人 修了者15人

④市民福祉活動センターとの共催事業

①パソコン教室

平成19年 7月 3日(火)午後1時～4時15分

暑中見舞いハガキづくり 参加者 8人

平成19年11月20日(火)午後1時～4時15分

年賀ハガキづくり 参加者 9人

講師 パソコンボランティア・マウスの会

②いきいきシニアライフ講座

平成20年 3月17日(月)午後1時30分～3時30分

テーマ「ボランティアで広がるシニアライフ」

講師 千里金蘭大学 人間社会学部人間社会学科 鳥海 直美 氏

テーマ「オカリナを通じてのボランティア活動」

講師 ボランティアグループ「オカリナ・アンサンブル・カトリア」

参加者 14人

3. 介護予防・健康づくり推進事業

高齢者が健康で自分らしい生活を送れるように、日常生活動作指導などの各種健康体操教室や利用者が気軽に参加できる「みんなの体操ひろば」を介護予防活動ボランティア養成講座第1期生修了者の協力のもとに開催した。

①介護予防事業

介護予防活動ボランティアリーダー養成講座修了生による転倒予防体操等の介護予防や健康づくり体操の普及活動を実施

- ・介護予防活動ボランティア第1期生交流会

平成19年5月12日(土)・6月9日(土)・7月28日(土) 午後1時30分~3時 参加者 延べ33人

- ・「みんなの体操ひろば」 毎週2土曜 午後1時30分~2時30分

(一部) 準備体操「ラジオ体操第1」

ビデオ「転倒予防トレーニング」高齢者が椅子に座ってできる体操

(二部) レクリエーション・講話など

※一部は毎回固定で実施、二部は毎回内容をかえて実施。

月日	内 容	講 師	リ-ダ-参加者
8/25	講話「認知症を予防しましょう」	地域包括支援センター荒川 職員	10人・27人
9/ 8	講話「介護保険について」	いきいきネット相談支援センター コミュニティワーカー	10人・40人
10/13	レクリエーション ゲーム・足のトレーニングなど	介護予防活動ボランティアリーダー 養成講座修了生	10人・38人
11/10	講話「ボランティアって何? について」	市民福祉活動センター 職員	10人・42人
12/ 8	講話「あなたと私と健康づくり」	日本介護予防指導者協会 重信 直人 氏	7人・37人
1/12	レクリエーション ゲーム・足のトレーニングなど	介護予防活動ボランティアリーダー 養成講座修了生	9人・28人
2/ 9	講話「食べることについて」	いきいきネット相談支援センター コミュニティワーカー	6人・23人
3/ 8	講話「健康講話と体操について」	健康体操インストラクター 菅沼 裕子 氏	6人・34人

②健康体操教室

高齢者サービスセンターの理学療法士の指導による高齢者の健康づくりを中心に日常生活における介護予防等の体操・相談・指導を実施

平成19年6月21日、7月19日、8月16日

午前10時~11時30分

講師 高齢者サービスセンター 理学療法士

参加者 延べ95人

③バランス健康体操教室

高齢者の健康づくりや介護予防の体操等を実施

- ・平成19年7月2日、8月6日・20日、9月3日、
10月1日・15日、11月5日・19日

午前10時~11時30分

講師 健康体操インストラクター 菅沼 裕子 氏

参加者 延べ246人

- ・平成19年12月3日・17日、
平成20年1月7日・21日、2月4日・18日、3月3日・17日

午前10時~11時30分

講師 インストラクター 山崎 笑子 氏

参加者 延べ251人

- ④趣味の充実のために卓球、ラジボール、バンパー、囲碁・将棋等ニーズにあった趣味を通じて交流を図り心身の健康の増進に努めた。

4. 利用状況

● 利用者数（開館日数 293日）

	男	女	団体利用者	合計
年間	26,199	18,920	2,471	47,590
一日平均	89	65	8	162

5. 各種相談事業

生活・仕事・健康等に関する相談、助言を指導

心身の悩みや心配事などを中心に専門的な知識・経験を有する相談員による総合的な相談を行った。

●各種相談事業（25件）

相談別	相談員	相談日	相談件数	
			内容	計
生活相談	高井田老人 セカ-館長	随時	相談受付なし	0
仕事相談	高井田老人 セカ-館長	随時	相談受付なし	0
健康相談	看護師 吉川雅子氏	不定期 午後1時～3時	高齢者の健康上の悩 みについて個別指導を実施	25

6. 実習生の受け入れ

小阪病院看護専門学校生の実習の受け入れ

平成20年1月25日（火）～3月7日（金）

午前10時～午後5時

実習生 15人

7. 新喜多中学校区いきいきネット相談支援センター事業（CSW配置事業） 詳細は別掲

Ⅵ. デイサービス事業

デイサービス事業は、平成18年度から指定管理事業となり、そのため指定管理者として、利用定員枠が15名から20名になったことや毎土曜日・祝日等も開所するなど、特に利用者の拡大をめざし、市民に利用してもらえるような施設づくりを進め、通所介護サービスの質の向上に努め、介護支援事業所等への案内・訪問や近隣へのチラシ配布などを通じ利用者の増加を図ってきた。

1. (高齢者サービスセンター・デイサービス)

今年度も引き続き、利用者の拡大をめざすとともに、市民に利用してもらえるようアットホームな施設として、利用者の生きがいを大切にすることをモットーに基本事業はもとより、日常動作訓練やレクリエーションメニューに工夫をした。

また、看護師等による介護予防選択的メニューの「運動器の機能向上」に取り組む等、通所介護サービスの質の向上に努めた。

1. 利用状況

1)登録状況(平成20年3月末現在) 43名

2)介護度別利用者数(平成20年3月末現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	9	8	8	11	4	2	1	43人

3) 月別延べ利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ 利用人数	272	297	280	261	278	278	324	308	298	282	284	288	3,450 人

2. 主な年間事業内容等

- ・ぬり絵や和紙を使ったちぎり絵などで、月間テーマに沿った毎月の手作りカレンダーの作成
- ・テイルーム入り口の壁面を使って、利用者による壁画づくり
- ・看護師等の指導による「運動器の機能向上」の実施
- ・各種ゲームと定期的なカラオケの実施
- ・ボランティアの協力による定期的なレクリエーション活動（折り紙、民謡、歌体操等）の実施

月	レクリエーション活動及び手作品製作活動	看護師等による機能訓練
4月	花祭り	鯉のぼりの制作 運動器の機能向上
5月	端午の節句会	壁画づくり //
6月	あじさい祭り	七夕飾りづくり //
7月	七夕祭り	うちわづくり //
8月	夏祭り	盆踊り大会 //
9月	敬老会	ぶどう作り //
10月	運動会	ゲーム //
11月	紅葉祭り	クリスマスリースづくり //
12月	クリスマス会	お正月飾りづくり //
1月	お茶会・ししまい	ゲーム //
2月	節分	鬼あてゲーム //
3月	雛祭り・弥生祭り参加	ゲーム //

3. 実習生の受け入れ

- ・インターンシップ（近畿大学）学生の実習受け入れ（1名）
- ・大阪府立たまがわ高等支援学校生の実習受け入れ（4名）
- ・小阪病院看護専門学校生の実習受け入れ（18名）

2. (楠根デイサービスセンター)

指定管理者制度下での運営2年目となった本年、昨年度より介護報酬収入も増加し、より充実したサービスを目指し、利用者の意向にそったサービス提供が出来る施設として、利用者の方が可能な限りその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、また介護予防の観点からも心身の機能維持、そして家族の介護の軽減を図るため日常生活上の世話及び機能訓練等の介護(介護予防)サービスの提供に努めてきた。特に本年度は、レクリエーションを重点的に充実させた。

1. 利用状況

1)登録状況(平成20年3月末現在) 40名

2)介護度別利用者数(平成20年3月末現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	2	6	7	14	8	3	0	40人

3)月別延べ利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ 利用人数	320	341	299	323	349	322	343	322	301	285	290	318	3,813 人

2. 主な年間行事等

月	主な年間行事(レクリエーション活動等)	
4月	吹き矢大会	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成
5月	訪問歯科による 口腔ケア	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成
6月	カレンダー作成	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ
7月	カレンダー作成	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ
8月	玉串保育園交流 (保育士)	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成
9月	秋祭り (お菓子作り・ヨーヨー作り 他)	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成
10月	玉串保育園交流 (園児)	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成
11月	運動会	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成
12月	クリスマス会 (手作りクリスマスカードのプレゼント)	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成・色紙作成
1月	お茶会	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成・鬼の面作成
2月	楠根デイ祭り ハイツ・ホールによる 演奏会	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・(昼食バイキング実施) カレンダー作成
3月	玉串保育園交流 (保育士)	昼食後の介護員による音楽体操 カラオケ・カレンダー作成

3. 玉串保育園との交流

昨年度に続き、玉串保育園・保育士並びに園児との楠根デイサービスセンター施設内でのレクリエーションによる交流(3回)をはかった。(8月・10月・3月実施)

4. 大学院生ボランティアによる弦楽器による演奏会の実施。(2月実施)

Ⅶ. 稲田鷺島住宅バ－ハウヅグ事業（高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業）

住み慣れた地域社会で自立して、快適な生活が営めるように毎朝一番に安否確認をするとともに生活相談、助言、一時的な家事援助、緊急時の対応などの支援を行ってきた。さらには介護予防の面から、毎月、ボランティアの協力を得て健康体操の取り組みを行った。また「団らん室だより」の発行と入居者同士のコミュニケーションを図るためのお茶会を開催した。保健センターとの協力を得て、入居者に対する情報提供や知識の向上をはかった。

利用状況（平成19年4月～平成20年3月）

平成19年度 生活援助員派遣事業実施状況表

月別	① 生活相談				② 関係機関との連絡調整						③ 一時的な家事援助							
	生活上の相談	身の上相談	仕事の相談	その他	小計	警備会社	介護保険他	高齢者福祉課	住宅政策課	民生委員	その他	小計	通院介助	買い物代行	食事の世話	掃除の代行	その他	小計
4	153			46	199		1	5			20	26					26	26
5	155			42	197		1	3	4		4	12	1	1	1		22	25
6	173			52	225	1	1	4	1		9	16		1	3		29	33
7	215	1		103	319	5			1		17	23	2	14			30	46
8	198	7		103	308						38	38			16		52	68
9	133	3		91	227						35	35			10		35	45
10	153	7		118	278			1	2		32	35				1	59	60
11	140			87	227		1	1	3		38	43					57	57
12	116			77	193	1					29	30					5	5
1	106			70	176	2			1		22	25				1	10	11
2	167			73	240				7		30	37				1	16	17
3	177			110	287	1			4		32	37					23	23
合計	1886	18		972	2876	10	4	14	23		306	357	1	4	44	3	364	416

月別	④ 緊急時の対応					⑤ その他		合計	コール応答なし	団らん室の利用状況 利用内容	
	緊急通報	救急車要請	病院への連絡	急病への世話	その他	小計	団らん室利用	安否訪問			利用回数
4			1	1		2	105	14	372	79	雑談・相談等
5				1		1	132	9	376	84	//
6			1	2		3	130	46	453	62	//
7	2	1			2	5	151	38	582	65	//
8						0	163	52	629	72	//
9						0	134	45	486	31	//
10					1	1	164	61	599	58	//
11		1	1		1	3	151	57	538	71	//
12						0	132	54	414	75	//
1						0	126	31	369	44	//
2						0	175	55	524	71	//
3					2	2	179	32	560	70	//
合計	2	2	3	4	6	17	1742	494	5902	782	

VIII. 在宅介護推進事業（介護保険事業・指定障害福祉サービス事業・受託事業）

介護保険法にのっとり訪問介護事業は、昨年度同様「介護給付」並びに「介護予防給付」のサービス提供事業所として、本協議会の2カ所のヘルプステーションでサービスを行った。

介護保険給付費請求については、月遅れとなっていた請求を11月に9月分と10月分の2カ月分請求をまとめて行い、以降は通常月請求を行うことができた。

次に、障害者自立支援法（以下「自立支援法」という。）による指定障害福祉サービス事業も、同じく2カ所のヘルプステーションで、「居宅介護」「重度訪問介護」のサービスを推進してきた。また、民間事業所と連携をとりながら、相談等も行ってきた。

受託事業として実施している「高齢者軽度自立生活援助等事業」・「難病者等ホームヘルプサービス事業」のうち「高齢者軽度自立生活援助等事業」は、経過措置として、その後を見据え介護保険につないでいくサービスを行ってきた。「難病者等ホームヘルプ事業」については、身体の状態等を把握し、サービスを行うとともに、相談を経て制度への手続きの援助も行ってきた。

非常勤ホームヘルパーに対しては、活動から活動への移動間の賃金付与や、年末年始の活動に対する賃金単価のアップなどを行うなど処遇改善を図り人員確保に努めた。また、事業所のサービス提供時間数の適正化を図るために、常勤嘱託ホームヘルパーを新たに2名採用し、体制を整えた。

サービスの質の向上を図るため、ホームヘルパー及びサービス提供責任者を対象として、研修を積極的に実施した。

1. ホームヘルプサービス事業

1) ヘルパー数

区 分	ヘルパー数
非常勤ホームヘルパー	161名

2) 利用者数

事業別	利用者数
介護保険訪問介護事業	127名
介護保険介護予防訪問介護事業	105名
指定障害福祉サービス事業	175名
高齢者軽度自立生活援助等・ 難病者等ホームヘルプ事業	14名
合 計	421名

3) 介護保険利用者区分

区 分	利用者数
要支援1	51名
要支援2	54名
要介護1	31名
要介護2	49名
要介護3	19名
要介護4	15名
要介護5	13名
合 計	232名

4) 指定障害福祉サービス利用者区分

区 分	利用者数
居 宅 介 護	155名
重度訪問介護	20名
合 計	175名

5) 事業別実働回数・時間

①介護保険

区 分	身体介護		生活援助中心		介護・援助		合 計	
	回数	時 間	回数	時 間	回数	時 間	回数	時 間
訪問介護	1,946	2,406:30	7,446	10,135:00	9,238	17,868:00	18,630	30,409:30
介護予防訪問介護			7,440	10,396:00			7,440	10,396:00

②指定障害福祉サービス

区 分	身体介護		家事援助		通院介助(介有)		通院介助(介無)	
	回 数	時 間	回 数	時 間	回 数	時 間	回 数	時 間
居宅介護・重度訪問介護	5,163	5,957:30	11,940	17,705:30	323	678:30	13	26:30

重度訪問介護		合 計	
回 数	時 間	回 数	時 間
3,935	9,354:00	21,374	33,722:00

③高齢者軽度自立生活援助等・難病等ホームヘルプ事業

区 分	介 護		家事援助		合 計	
	回 数	時 間	回 数	時 間	回 数	時 間
高齢者・難病患者	63	142:00	594	930:30	657	1,072:30

2. 人材育成等

1) ホームヘルパー研修(ケアマネジャー研修参加を含む)

月 日	研 修 名	場 所・研修内容等	人数
4 22 28	非常勤ホームヘルパー研修 (高) 非常勤ホームヘルパー研修 (西)	新チーム体制紹介・サービス提供者の事務補助・接遇 //	87 62
7 7 11	非常勤ホームヘルパー研修 (高) 非常勤ホームヘルパー研修 (西)	新チーム体制紹介・事務説明 //	53 40
9 5 21	相談支援従事者初任者研修 相談支援従事者初任者研修	Iタイプ=9/5-10/31 (内5日間 ビッグアイ、府立青少年会館) IIタイプ=9/21(外大阪中央)	3 2
10 17	事例検討ホームヘルプ実務研修会	高齢者サービスセンター 研修室	32
11 7 8	第2回感染症予防対策講習会 平成19年度難病患者ホームヘルパー研修	府立青少年会館 難病基礎過程Ⅰ 11/8-9 エル大阪 難病基礎過程Ⅱ 11/8-9 エル大阪	1 1 1
16	介護保険事業者連絡協議会研修会	「精神障害者その病気の理解と支援の方法について ～認知症をめぐる～」ユトリート東大阪 (高)12 (西)4	16
21	東大阪市高齢者地域ケア会議 第2回B地域地域別会議	「高齢者虐待を防止する～事例と対応～」	2
12 6 12 17	東大阪市域「人権研修」 事例検討ホームヘルプ実務研修会 労働安全衛生委員会職員研修会	「落語から学ぶ人情の大切さ～言葉の重み～」 (イコラーム) 東大阪市立総合福祉センター 1F 大集会室 (高)3 (西)37 「福祉の職場ではたらく私たちのメンタルヘルス～ ストレス発散どうしていますか?～」 高齢者サービスセンター2F研修室	2 40 14
2 19 21	認定調査研修会(現任研修会) 労働安全衛生委員会職員研修会	東大阪市立男女共同参画センターイコラーム 「交通事故防止のために」 「感染症の対策とメンタルケア」 「食中毒に関する留意点」	2 54
	東大阪市介護保険事業者連絡協議会	「管理職と指定の法令遵守のための視点と考え方 ～事業所運営のための書類の整理について～」	1
22	ホームヘルパー向け研修 (大阪府精神障害者退院促進強化事業)	「精神障害者を地域で支えていくために ～あたりまえの暮らしをめざして②」	13
26	民間事業者対象社会福祉研修	「障害者の権利」 大阪府新別館北館	1
3 6 13	人権市民講座 人権市民講座	「定住外国人の人権」 市民会館5F (高)1 (西)2 「バリアフリー社会をめざして」 市民会館5F (高)6 (西)2	3 8

※(高)＝社会福祉協議会 ヘルプステーション
(西)＝社会福祉協議会 西ヘルプステーション

2) 同行実習研修実施

No.	同行実習依頼機関	実施日	人数	実施課程
1	大阪保健福祉専門学校	H19.7/5, 7/9	1	同行実習
2	府立たまがわ高等支援学校	H19.11/29~30	2	同行実習
3	財団法人石神記念医学研究所	H20.1/21, 1/24	延べ6	同行実習
4	東大阪大学短期大学部	H20.3/12~14	延べ6	同行実習

3. 居宅介護支援事業所（介護保険事業）

要介護・要支援認定調査（新規・更新・変更）回数（東大阪市分）							年間110回
社協ケアプラザセンター（ケアスタッフ2名）、社協西ケアプラザセンター（ケアスタッフ2名）							ケアスタッフ4名
平成20年3月現在の要支援、要介護度別サービス提供利用者数(入院・入所者除く)							
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4	11	31	43	16	12	4	121

2. 日常生活自立支援事業

地域福祉権利擁護事業は、平成19年度より事業名称が「日常生活自立支援事業」に変更となった。当協議会では、昨年度に高齢者サービスセンターでサービス拠点を1カ所増設し、職員の増員を行い利用希望者の待機状況の改善に努めてきた。平成19年度は、2カ所の事業の拠点を在宅介護推進センター1カ所にまとめ、職員を1カ所にまとめるとともにさらに職員を増員し、独立したセクションとして「日常生活自立支援センター」として業務の拡大と充実を図った。

その結果、契約を締結しサービスを開始したケース数は38件（年度中の終了者8名を含む）となり、サービス実施ケースは112件となり、昨年度末82件から30件の増加となった。また、福祉事務所、病院、作業所、施設、地域包括支援センターやケアマネージャーなどの関係機関からの相談が延べ3297件あり、今後も判断能力の不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等の相談やサービスの利用希望が増えることが予想される。平成20年3月31日現在、相談待機者でまだ未折衝のケースが77件あり、早急な対応が求められるところである。当協議会では平成20年度においても職員・嘱託職員の増員をおこない相談希望ケースの待機時間短縮に対応するとともに業務を拡大し、事業を推進していく。

相談援助 件数	対象の種類	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	認知症高齢者等	31	78	268	384	513	661	1,333	1,584
知的障害者等	14	31	69	150	301	203	361	316	
精神障害者等	13	53	110	203	319	400	1,081	1,347	
その他	20	37	22	23	30	40	11	50	
合計（件）		78	199	469	760	1,163	1,304	2,786	3,297
実利用者 人数	認知症高齢者等	3	5	11	17	21	25	32	51
	知的障害者等	2	4	5	7	11	11	14	16
	精神障害者等	0	4	8	12	13	19	36	45
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計（件）	5	13	24	36	45	55	82	112
サー ビス 訪問 回数	認知症高齢者等	51	103	205	453	554	600	747	1,060
	知的障害者等	27	77	121	235	323	282	356	401
	精神障害者等	0	51	178	325	349	425	789	1,357
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計（回）	78	231	504	1,013	1,226	1,307	1,892	2,818

X. 地域包括支援センター（基幹型）事業

当協議会の2カ所の地域包括支援センター（「基幹型地域包括支援センター東大阪市社会福祉協議会角田」「基幹型地域包括支援センター東大阪市社会福祉協議会荒川」）は、平成18年度より活動をスタートし地域包括支援センター本来の基本機能を担うとともに、以前より担当してきた東大阪市高齢者地域ケア会議の運営も昨年度に引き続き取り組んだ。

地域包括支援センター事業では、介護予防ケアマネジメント業務をはじめ、介護予防教室開催、特定高齢者への介護予防プログラムへの参加の働きかけ、虐待を含む総合相談業務を実施した。

また、東大阪市高齢者地域ケア会議活動では定例の地域ケア会議の開催、認知症高齢者が暮らし続けられる地域づくりの取り組みとしての認知症を知る地域講演会開催や認知症相談窓口パンフレット改訂版の配布等を実施した。また、東大阪市高齢者虐待防止ネットワーク事業ではその中心的機関として虐待の疑われる高齢者の集約、関係機関との連携、対応等虐待防止に取り組んだ。

相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
角田	相談支援	136	159	149	193	187	181	238	223	286	334	286	275	2647
	地域ケア支援													
	個別	7	18	18	25	30	14	13	15	19	8	5	4	176
	集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
荒川	相談支援	70	53	158	184	166	139	175	131	146	115	106	111	1554
	地域ケア支援													
	個別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	集団	0	0	0	3	1	0	0	2	1	1	0	0	8

（地域ケア支援：地域において高齢者の支援に当たっている関係者や機関、団体およびそのスタッフへの支援）

相談支援 相談者・相談内容内訳

項目	相談件数	内訳	相談者				相談内容(重複相談含)						
			本人	家族	ケアマネジャー	他	介護保険	介護	福祉サービス	保健医療	家族関係	介護予防	その他
角田	2647		376	626	833	812	1312	82	243	84	91	985	375
荒川	1554		218	251	521	564	673	283	223	166	506	210	463
全件数	4201		594	877	1354	1376	1985	365	466	250	597	1195	838

食の自立支援事業（配食サービス）利用決定にかかる調査	角田	荒川	合計
		84件	42件

特定高齢者への働きかけ（介護予防啓発）	角田	荒川	合計
	受付数	343	360
働きかけ数	255	239	494

介護予防支援（給付管理数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
角田	464	474	478	485	504	512	525	533	531	532	525	541	6104
自アツ	238	257	264	269	268	274	291	290	292	295	292	304	3334
他アツ	226	217	214	216	236	238	234	243	239	237	233	237	2770
荒川	681	696	704	714	611	565	546	498	490	489	475	475	6944
自アツ	297	308	318	325	331	319	300	253	254	245	238	250	3438
他アツ	384	388	386	389	280	246	246	245	236	244	237	225	3506
合計	1145	1170	1182	1199	1115	1077	1071	1031	1021	1021	1000	1016	13048

介護予防教室開催
 <角田>

	日程	開催場所	テーマ	講師	参加数
1	8/23	島之内自治会館	介護予防の説明 座ってできる健康運動	HOS EIWA 健康運動指導士 小林亮介氏 健康運動実践指導士 宮崎智子氏	38
2	9/28	島之内自治会館	認知症の説明 新聞紙を使った健康運動	HOS EIWA 健康運動指導士 小林亮介氏 健康運動実践指導士 宮崎智子氏	39

<荒川>

	日程	開催場所	テーマ	講師	参加数
1	5/26	長堂公民館 2階洋室	紙風船を作って、それを使って健康運動をしよう (長堂第7・8自治会)	HOS EIWA 健康運動指導士 小林亮介氏 健康運動実践指導士 増永めぐみ氏	21
2	6/30	長堂公民館 2階洋室	紙風船を作って、それを使って健康運動をしよう (定代北1・2・4・5自治会)	HOS EIWA 健康運動指導士 小林亮介氏 健康運動実践指導士 増永めぐみ氏	32

地域包括並びに在宅介護支援センター連絡調整会議 12回

地域包括並びに在宅介護支援センター職員研修会 於：高齢者サービスセンター

月日	テーマ	講師	参加数
8/21	精神疾患について ～病気の理解～	ひがし布施クリニック 院長 辻本 士郎 氏	47
9/12	成年後見制度の基本的理念と 具体的な利用手順について	たむらソーシャルネット 田村 満子 氏	43
9/21	精神疾患について ～病気への対応と関わり～	オラシオン 代表 辻本 直子 氏	38
10/31	介護保険事業者と主治医との連携 ～すべては患者様のために～	中西医院 院長 中西 忍 氏	34
11/17	高齢者と口腔ケア	東大阪市西歯科医師会 常務理事 寺坂歯科医院院長 寺坂 章 氏	16
1/11	対人援助専門職としての 自分を見つめる ～自己覚知と実践の力～	大阪城南女子短期大学 専攻科福祉専攻 人間福祉学科 講師 秦 康弘 氏	36
1/24	対人援助専門職としての 自分を見つめる ～自己覚知と実践の力～	大阪城南女子短期大学 専攻科福祉専攻 人間福祉学科 講師 秦 康弘 氏	28
2/14	対人援助専門職としての 自分を見つめる ～自己覚知と実践の力～	大阪城南女子短期大学 専攻科福祉専攻 人間福祉学科 講師 秦 康弘 氏	25
3/25	最新の医療制度の動向について ～後期高齢者医療制度や 診療報酬について～	東大阪市立総合病院 地域医療室看護師長 新田 薫 氏 東大阪市保健所 中保健センター所長 森 國悦 氏	48

地域ケア会議

会議名	回数	備考	事務局
機関等代表者会議	1回	委員 32名	基幹型
企画運営会議	12回	委員 14名	基幹型
地域別会議	21回	7地域に分かれて各年3回開催	エリア内の 地域包括支援センター 在宅介護支援センター
個別支援策 検討会議	223回	サービス利用の必要性がありながら制度につなげることが困難な方について、関係者が支援の方向性を検討する場として定着しつつある。虐待が疑われる事例については少しでも課題を解決する為「東大阪市高齢者虐待防止ネットワーク」が開始された。	担当地域の 地域包括支援センター
高齢者虐待防止 専門会議	13回 (内1回は オープン 会議)	・保健センター(東・中・西) ・福祉事務所(東・中・西) ・保健所健康づくり課・高齢介護課 ・医師・精神科医師・弁護士	基幹型

地域ケア会議参画申出数

地域	A	B	C	D	E	F	G	合計
参加数	89	108	107	123	95	165	135	822

*複数地域に参画している事業者有り

地域別会議

第1回地域別会議

地域	テ ー マ	参加数
A	高齢者虐待を防ぐために～高齢者虐待防止法の基本とその理念～ 1. 東大阪市高齢者虐待防止ネットワークについて 2. 高齢者虐待防止法の基本とその理念 さつがわ共同法律事務所 弁護士 青木 佳史 氏 3. 全体での質疑応答・意見交換	76
B	高齢者虐待を防止する～早期発見の重要性～ 1. 講演 東西法律事務所 弁護士 上津 亮次 氏 2. 全体での質疑応答	116
C	今からでも防げる？メタボリックシンドローム 1. 生活習慣病を予防しよう 中保健センター 保健師 山出 雪絵 氏、辻 恵子 氏 2. 基本健康診査を受けましょう // 保健師 山出 雪絵 氏、辻 恵子 氏 3. 全体で意見交換	78
D	地域との連携～民生委員の役割を知る～ 1. 民生委員の役割と活動について 玉串校区民生委員校区委員長 湯浅 昭夫 氏 2. グループに分かれて意見交換	129
E	地域で高齢者を支え続けるために～バーンアウト防止～ 1. 支援者のサポートについて 大阪城南女子短期大学 教授 前田 崇博 氏 2. 全体での意見交換	45
F	介護予防と地域の取り組み～活気のある地域をめざして～ 1. 介護予防ボランティアの育成 YMCA中高齢者事業推進室室長 日本介護予防指導者協会事務局 局長 重信 直人 氏 2. 東大阪市における介護予防の取り組みについて 東大阪市福祉部高齢介護課 担当者 3. 介護予防体探	96
G	こころの病気と障害を知ろう～大丈夫かな、どう接するの？～ 1. こころの病気と障害について 医療法人幸仁会阪本病院 訪問看護ステーションすみれ草所長 円城寺 浩一 氏 2. 全体での質疑応答・意見交換	122
合計		662

第2回地域別会議

地域	テ ー マ	参加数
A	高齢者虐待を防ぐために～発見とかかわり～ 1. 具体例から学ぶ、発見とかかわりのポイント くすのき広域連合事業課 主任 保健師・介護支援専門員 曾我部 ゆかり 氏 2. 全体での質疑応答・意見交換	66
B	高齢者虐待を防止する ～事例と対応～ 1. 講演 大阪社会福祉士会相談センター 相談員 前川 敦 氏 2. 全体での質疑応答・意見交換	84
C	東大阪市防災ネットワークの今 1. 東大阪市における防災への取り組みについて 市危機管理室 担当者 2. 災害時要援護者登録制度について 市健康福祉企画課 担当者 3. 災害時要援護者への社会福祉協議会の取り組みについて 東大阪市社会福祉協議会 事務局長 4. 全体で意見交換	83
D	地域との連携～校区福祉委員会の取り組みを知る～ 1. 校区福祉委員会の組織と構成について 東大阪市社会福祉協議会 事務局担当者 2. 校区福祉委員会の取り組みについて 岩田西校区 校区福祉委員長 田中 勝治 氏 3. グループに分かれて意見交換	72

第2回地域別会議

地域	テ ー マ	参加数
E	地域で高齢者を支え続けるために～防ごうメタボリックシンドローム～ 1. 支援者の健康も守ろう 特別養護老人ホーム アーバンケア稲田 管理栄養士 岩佐 美枝 氏 2. 全体での質疑応答	32
F	高齢者が安心して暮らせる街とは～小地域ネットワークの実態を知る～ 1. 小地域ネットワークについて 東大阪市社会福祉協議会 市民福祉活動センター 事務局担当者 2. グループに分かれて意見交換	80
G	こころの病気と障害を知ろう～大丈夫かな、どう接するの？パート2～ 1. こころの病気をもつ方への関わりについて 訪問看護ステーションひろーる 所長 辻本 直子 氏 2. 全体での質疑応答・意見交換	86
合計		503

第3回地域別会議

地域	テ ー マ	参加数
A	高齢者虐待を防ぐために～事例から学ぶ～ 1. 事例紹介、ディスカッション コーディネーター くすのき広域連合事業課 主任 曾我部 ゆかり 氏	51
B	高齢者虐待を防止する～精神科病院の役割と精神科リハビリケアとの連携～ 1. 講演 社会福祉法人 天心会 小阪病院 病客部 医療社会事業課 田邊 文宣 氏 2. 全体での質疑応答・意見交換	76
C	高齢者の交通安全について～自転車のマナーを守って交通事故を防ごう～ 1. 講話 河内警察署交通課 担当者 (高齢者の交通事故の現状、歩行時及び自転車運転時の高齢者の傾向性、自転車のルール・マナー) 2. 全体で意見交換	68
D	地域との連携～事例を通して考える～ 1. 事例紹介、ディスカッション コーディネーター 大阪城南女子短期大学 講師 秦 康宏 氏	60
E	地域で高齢者を支え続けるために ～事例を通して支援者のこころの健康を考える～ 1. 事例提供 E地域 地域別会議 事務局 2. グループ討議	33
F	災害時要援護者への取り組みの現状について 1. 災害時要援護者への取り組みについて 東大阪市社会福祉協議会 事務局長 2. 全体での質疑応答・意見交換	92
G	こころの病気と障害を知ろう～大丈夫かな、どう接するの？パート3～ 1. こころの病気をもつ方への関わりについて 東大阪市保健所 西保健センター 主査 精神保健福祉相談員 浜崎 敬子 氏 2. 全体での質疑応答・意見交換	86
合計		466

地域別会議事務局会議

80回

個別支援策検討会議 ()内は虐待事例	角田	荒川	基幹型以外	合計
	39件 (23)	82件 (71)	102件	223件 (94)

全体研修会

研修会テーマ	「認知症とともに生きる～支えるためにできること～」
パネル ディスカッション	進行役：沖田 裕子氏（大阪市社会福祉研修・情報センター スーパーバイザー） 登壇者：梅原 勝美氏（東大阪市民生委員児童委員協議会連合会 会長） 木田 朝子氏（東大阪市老人介護者家族の会 副会長） 吉田 悟氏（地域包括支援センターみのわの里 管理者） 渡邊新太郎氏（わたなべメンタルクリニックS 院長）
対象者	東大阪市民および地域ケア会議関係者
日時・場所	1月21日（月）18：30～20：30 東大阪市立市民会館 市民ホール
参加者数	600名

広報活動として

1、認知症相談窓口パンフレットの配布先

- ・ 関係機関（福祉事務所・保健センター・警察署・消防署・人権文化センター）
- ・ 市内の各医師会会員・各歯科医師会会員・各薬剤師会会員
- ・ 市内および東大阪市近隣の医療機関
- ・ 東大阪市民生委員児童委員協議会連合会および校区福祉委員会

2、認知症を知る地域講演会

	開催場所	対象校区	日程	講師	参加数
1	東大阪市民市民会館	永和	6/16(土)	塚本クリニック 院長 塚本 宗之 氏	24
2	大蓮公民分館	長瀬南	7/27(金)	わたなべメカクリニックS 院長 渡邊 新太郎 氏	69
3	花園本町会館	花園 花園北	9/15(土)	塚本クリニック 院長 塚本 宗之 氏	51
4	介護老人保健施設 長田の里	楠根東 楠根南	9/22(土)	くどうまさしげ診療所 院長 工藤 将茂 氏	11
5	特別養護老人ホーム ヴェルディ八戸ノ里	小 阪	11/ 2(金)	わたなべメカクリニックS 院長 渡邊 新太郎 氏	31
6	森河内公民分館	森河内	11/24(土)	くどうまさしげ診療所 院長 工藤 将茂 氏	39
7	市民ふれあいホール	縄手北 縄手東	11/28(水)	ためながクリニック 院長 為永 一成 氏	34
8	菱屋西公民分館	菱屋西	12/ 1(土)	わたなべメカクリニックS 院長 渡邊 新太郎 氏	21
9	長瀬北公民分館	長瀬北	12/ 8(土)	わたなべメカクリニックS 院長 渡邊 新太郎 氏	60
10	縄手公民分館	縄 手	12/12(水)	ためながクリニック 院長 為永 一成 氏	14

XI. 玉串保育園

- 1) 定員120名の保育と待機児解消の促進として18%の枠外入所を実施した。
- 2) 特別保育事業として実施している子育て支援事業では、登録制「ドレミファランド」を実施し、親子でいろいろな企画に参加して楽しんでいただき保護者も子どもにとってもコミュニケーションの場として、活発な運営を行った。また、保育園における子育て支援のニーズは高く、公民館を利用した「スクスクランド」「びよびよランド」等のあそびの広場や、園庭開放といった、自由参加型の事業においても定数を超える利用者数であった。
また、一時保育事業においても様々な保育ニーズに応じていくことができた。
「わんぱくスクスクネット推進会議」を通じて地域の各機関と連携を図り、地域に根ざした子育て支援を進めていくことができたことは、事業の取り組みに大きな成果を得た。
- 3) 世代間交流事業として、近隣の軽費老人ホーム「玉美苑」の利用者と定期交流を実施したり、楠根デイサービスセンターへの年長児による出前保育にも取り組んだ。
また、中学2年生の職業体験研修を受入れた。

年間行事

月	日	行 事 内 容	月	日	行 事 内 容
4	1	・保育開始日	5	21	・誕生会
	2	・入園式		2	・こどもの日の集い
	6	・保護者全体説明会		9・23	・体育あそび
	11・25	・体育あそび		22	・親子遠足
	18	・うたあそび		16	・うたあそび
	20	・誕生会		15	・クッキング保育
	13・27	・フィットクラブ（5歳児）		18	・避難訓練
	24	・避難訓練		18・25	・フィットクラブ
	19	・交通安全指導		15	・内科健診
	16・17	・身体計測		14	・歯科検診
	16～23	・クラス懇談会（計6回）		17・18	・身体計測
	17～26	・ドレミファランド（計4回）		10・11	・ぎょう虫検査
			8～31	・ドレミファランド（計8回）	
6	4～30	・個人懇談会（3・4・5歳児）	7	13・14	・合宿保育（5歳児）
	13・27	・体育あそび		6	・七夕まつり集会
	20	・うたあそび		6	・誕生会
	25～28	・クッキング保育		11・25	・体育あそび
	11	・避難訓練		18・24	・うたあそび
	19	・プール開き		13	・クッキング保育
	21	・ジャガイモ掘り		20	・フィットクラブ
	22	・誕生会		6	・避難訓練
	8	・わんぱくフェスティバル（5歳児）		19・20	・身体計測
	29	・なかよし交流会（玉美苑の皆さん）		19	・プールじまい
	5～28	・ドレミファランド（計8回）		21	・楽しい夕べの集い
	1	・保育参観		3～26	・ドレミファランド（計7回）
14	・身体計測（3・4・5歳児）		・夏季保育期間		
15	・フィットクラブ		・玉串幼稚園交流会		
			31	・人形劇公演	
8	23	・避難訓練	9	14	・お月見会
	24	・誕生会		14	・誕生会
	20・21	・身体計測		26	・運動会予行練習
	8・22	・体育あそび		12・26	・体育あそび
	3	・フィットクラブ		19	・うたあそび
	21～30	・ドレミファランド（計4回）		7・21	・フィットクラブ
		・夏季保育期間		19	・避難訓練
	1	・うたのコンサート		18・19	・身体計測
				5	・敬老の日の集い
				20～28	・クラス懇談会（計6回）
		4～27	・ドレミファランド（計8回）		
		8	・父母の会主催公演会		

月	日	行 事 内 容	月	日	行 事 内 容
10	1 6 22 10・24 17 12・19 26 18・19 24 26 16 10 2～30 9～12 30	<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念日 ・運動会 ・秋まつり参加 ・体育あそび ・うたあそび ・フィットクラブ ・避難訓練 ・身体計測 ・私立保育園合同運動会 ・誕生会 ・園外保育 ・さつまいも掘り ・ドレミファランド（計9回） ・あやめぐみなかよし交流週間 ・保育参観 	11	22 29～12/1 29 14～28 21 2 6,13 12 19,20 13 5～30 1～27 12 30	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・作品展 ・なかよし交流会（玉美苑の皆さん） ・体育あそび ・うたあそび ・フィットクラブ ・クッキング保育 ・避難訓練（消防署来園） ・身体計測 ・内科健診 ・個人懇談会（0・1・2歳児） ・ドレミファランド（計8回） ・防犯訓練 ・演劇鑑賞会
12	3 13 17 21 12,26 19 5 7,14 20 14,17 18 7,21 29～31 7 20	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン開始 ・乾布摩擦開始 ・もちつき会 ・玉美苑訪問（5歳児） ・クリスマス会 ・体育あそび ・うたあそび ・クッキング保育 ・避難訓練 ・身体計測 ・ドレミファランド（計2回） ・フィットクラブ ・冬季保育期間 ・往生院資料館見学（5歳児） ・防犯訓練 	1	11 25 16 9,23 16,31 18 22,23 18	<ul style="list-style-type: none"> ・どんど焼き ・誕生会 ・サッカー大会 ・体育あそび ・うたあそび ・フィットクラブ ・避難訓練 ・身体計測 ・ドレミファランド（計1回）
2	1 21 13,27 20 9 22,29 12 14 27 19,20 19 1,15 15 19	<ul style="list-style-type: none"> ・節分あそび ・誕生会 ・体育あそび ・うたあそび ・生活発表会 ・フィットクラブ ・学校見学 ・卒園進級写真撮影 ・避難訓練 ・身体計測 ・クッキング保育 ・ドレミファランド（計2回） ・人形劇公演 ・防犯訓練 	3	3 6 12,19 11 7 5 4 13,14 4～11 17 3 22 7,21 31 31	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなまつり会 誕生会 ・園外保育 ・体育あそび ・うたあそび ・フィットクラブ ・クッキング保育 ・避難訓練 ・身体計測 ・クラス懇談会（計6回） ・お別れ会（5歳児とのお別れ会） ・誕生会 ・卒園式 ・ドレミファランド（計2回） ・春季保育期間 ・防犯訓練 ・平成19年度保育終了